

医史学関係文献目録

(五十音順)

平成15(2003)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|------------------------|-----------|
| 01 単行本 | 19 細菌学史 |
| 02 医学切手・書画 | 20 産婦人科史 |
| 03 医学教育 | 21 齒学史 |
| 04 医学用語 | 22 史跡・記念碑 |
| 05 医師会・学会 | 23 疾病史 |
| 06 医史学一般 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 07 医の倫理 | 25 種痘史 |
| 08 医療器械 | 26 獣医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 27 書簡 |
| 10 衛生史・公衆衛生史・
予防医学史 | 28 書誌学 |
| 11 解剖学史 | 29 小児科史 |
| 12 眼科史 | 30 神経学史 |
| 13 看護史 | 31 診断学史 |
| 14 寄生虫学史 | 32 整形外科史 |
| 15 教室・大学史 | 33 精神医学史 |
| 16 軍陣医学史 | 34 生物学史 |
| 17 形成外科学史 | 35 西洋医学史 |
| 18 外科史 | 36 生化学史 |
| | 37 生理学史 |

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 38 地方史 | 52 法医学史 |
| 39 治療史 | 53 放射線医学史 |
| 40 伝記 | 54 本草学史・博物学史 |
| 41 伝記(双) | 55 麻醉学史 |
| 42 伝染病史・防疫史・感染
症史 | 56 門人録 |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史 |
| 44 内科史 | 58 蘭学史 |
| 45 皮膚科史 | 59 リハビリテーション関
係史 |
| 46 泌尿器科史 | 60 検査 |
| 47 病院史 | 61 その他 |
| 48 病跡学 | 62 中国語文献 |
| 49 病理学史 | 63 韓国語文献 |
| 50 風俗史 | 64 欧文文献 |
| 51 仏教医学史 | |

今回は17、34、36、49、50、51、52、56にあたる文献はありません。

01 単行本

青木正和『結核の歴史』講談社

遠藤正治『本草学と洋学—小野蘭山学統の研究—』思文閣出版

郭秀梅『靈枢講義主編』中国北京学苑出版社

神谷智『草創期の名古屋大学と初代総長洪沢元治』名古屋大

学大学史資料室

九州大学医学部百周年記念写真集編集委員会『九州大学医学
百周年記念写真集 1903—2003』

京都市歴史資料館『京都武鑑 上』

小竹英夫『北海道医学教育史攷』(有)北海道出版企画センター

埼玉県総合政策部文化振興課『彩の国埼玉の偉人たち』

酒井シヅ『絵で読む江戸の病と養生』講談社

篠田達明『モナ・リザは高脂血症だった 肖像画 29 枚のカル
ルテ』新潮社

(社)日本呼吸器学会『呼吸器学 100 年史 21 世紀へのメッ
セージ』

社団法人日本内科学会『社団法人日本内科学会創立 100 周年
記念事業記録集「医の調和を求めて」～日本内科学会 100
年の歩みと課題～』

須磨幸蔵、島田宗洋、島田達生「世界の心臓学を拓いた田原
淳の生涯」ミクロスコピア出版会

長崎県立長崎図書館一幕末・明治期における長崎居留地外国
人名簿Ⅱ』

中村光夫『埼玉の種痘医』

日本医師会『第 121 回日本医学会シンポジウム記録集 プリ
オン病』

日本精神神経学会百年史編集委員会(編)『日本精神神経学
会百年史』

日本精神神経学会百年史編集委員会(編)『日本精神神経学

会百年史 [資料編]』

ノルデンフェルトレナート、石渡隆司、森下直貴(監訳)
『健康の本質』時空出版

HAMANAKA T./ BERRIOS G.E.『Two Millennia of
Psychiatry in West and East』学樹書院

森岡恭彦、村上陽一郎、養老孟司編著『新医学概論』産業図書
森川順『井上毅のドイツ化構想』

山口拓史『名大祭—40 年のあゆみ—』名古屋大学大学史資
料室

ライダー島崎玲子、大石杉乃(編著)『戦後日本の看護改革
—封印を解かれた GHQ 文書と証言による検証』日本看護
協会出版会

02 医学切手・書画

「キリスト教とヨーロッパ中世医学」安室芳樹『STETHO-
SCOPE』(172) 2-6

「絵はがきで見るパリの古い病院 (11)」今泉孝『医譚』(97)
107-105

「アンリー・デュナンの写真」小野公義『STETHOSCOPE』
(174) 12-13

「昭和初期茅ヶ崎南湖院の絵はがき (紹介と解説)」加賀谷一
『医学史研究』(84) 36-38

「切手・医学史をちこち 13 北里柴三郎生誕 150 年」金山知新
『医学のあゆみ』204 (4) 271

- 「切手・医学史をちこち 14 齋藤茂吉没後 50 年」金山知新『医学のあゆみ』204 (8) 564
- 「切手・医学史をちこち 15-16 日本女医会 100 年 (1-2)」金山知新『医学のあゆみ』204,205 (12,4) 857,261
- 「切手・医学史をちこち 17 哲学的自殺 100 年」金山知新『医学のあゆみ』205 (8) 520
- 「切手・医学史をちこち 18-19 野口英世没後七五年 (1-2)」金山知新『医学のあゆみ』205,205 (13,4) 998,283
- 「切手・医学史をちこち 20 楠本いね没後 100 年」金山知新『医学のあゆみ』206 (8) 504
- 「切手・医学史をちこち 21 小川正子没後 60 年」金山知新『医学のあゆみ』206 (13) 973
- 「切手・医学史をちこち 22 洪庵ラーメン・洪庵トンネル—緒方洪庵没後 140 年」金山知新『医学のあゆみ』207 (4) 264
- 「切手・医学史をちこち 23 秦佐八郎生誕 130 年・没後六五年」金山知新『医学のあゆみ』207 (8) 558
- 「切手・医学史をちこち 24 上野公園 130 年／ボードイン胸像三〇年」金山知新『医学のあゆみ』207 (12) 1004
- 「切手で医学散歩〈241-288〉」金山知新『Medical Tribune』36 (12-52)
- 「切手の中の生命科学史」金山知新『Medical Tribune』(創刊三五周年記念特集号) 72-73
- 「医学絵葉書の医史料としての評価 (抄)」寺畑喜朔『医譚』(96) 31

- 「絵葉書でみる近岡善次郎画伯の明治期医学建築物 (抄)」寺畑喜朔『医譚』(97) 79-80
- 「生薬物語 柿」中村實郎『STETHOSCOPE』(172) 7-12
- 「アラブ土候国の医学関連切手」平瀬光宏『STETHOSCOPE』(174) 2-11
- 「酸素 アラカルト②」平瀬光宏『STETHOSCOPE』(171) 7-10
- 「盲導犬」山之内卯一『STETHOSCOPE』(171) 2-6

03 医学教育

- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医科大学学則 (46)」小竹英夫『北海道医報』(1009-1011) 48-49, 32-33, 18-19
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医科大学学則 (7) 歴代学長及び教授副学長及び参与」小竹英夫『北海道医報』(1012) 22-23
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 副学長及び参与 (続) 平成一二年度歳入・歳出決算額 旭川医大の土地・建物 卒業生数及び国家試験合格者数」小竹英夫『北海道医報』(1013) 30-31
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 摺筆の辞」小竹英夫『北海道医報』(1014) 30-31
- 「昭和時代の医系総合教育を目指した人 (抄)」塩原仁子『薬史学雑誌』38 (2) 224
- 「佐藤剛蔵と近代朝鮮医学教育 (抄)」寺畑喜朔『日本医史学

- 雑誌】49 (1) 38-39
- 「医学館における医学考試について—口腔科を中心として— (抄)」戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 51-52
- 「医学館における医学考試について (抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』49 (4) 669-672
- 「わが国の臨床薬学教育に関する史的考察 (第1報) 名城大学薬学専攻科の創設と変遷」半谷眞七子『薬史学雑誌』38 (1) 54-65
- 「わが国の臨床薬学教育に関する史的考察 (第2報) 名城大学薬学専攻科が確立した臨床薬学の教育システム」半谷眞七子『薬史学雑誌』38 (1) 66-81
- 「近代医学教育の夜明け 第1話 ポンペの来日」深瀬泰旦『新薬と治療』53 (2) 27-29
- 「近代医学教育の夜明け 第2話 ポンペの教育」深瀬泰旦『新薬と治療』53 (4) 33-35
- 「近代医学教育の夜明け 第3話 ポンペの後任ボードイン」深瀬泰旦『新薬と治療』53 (6) 43-45
- 「医学館年表作成をめざして—基礎資料解説— (抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』49 (2) 379-380
- 「多紀元簡失脚の背景—医学館官立化当初の一事情—」町泉寿郎、小曾戸洋、花輪壽彦『日本医史学雑誌』49 (2) 205-221
- 「江戸医学館における臨床記録 (抄)」町泉寿郎、戸出一郎『日本医史学雑誌』49 (2) 373-375
- 「教育医学小史 (抜粋) (木瓜の60年) (抄)」森基要『教育

医学』49 (1) 30-31

04 医学用語

- 「西洋諸語の薬局の語源いろいろ」内林政夫『薬史学雑誌』38 (2) 205-209
- 「ミルラとミイラ、カミルレとカミツレ」内林政夫『薬史学雑誌』38 (1) 106-109
- 「看護を記述する用語 その歴史と展望」数馬恵子『看護教育』44 (8) 648-660
- 「医学教育における解剖学用語の在り方 解剖学用語の変遷 (抄)」木村邦彦『解剖学雑誌』78 (Suppl.) 166
- 「「感冒」疾患名の起源について (抄)」木村丹『医譚』(97) 93
- 「「漢方」の語の由来と意味 (Origin and Meaning of the Word "Kampo") (英語)」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』54 (2) 259-260
- 「胎児仮死の用語をめぐる (抄)」佐藤章『日本新生児学会雑誌』39 (2) 154
- 「「やまい」から「病氣」へ、西洋近代医学の導入と言葉の変化について」福永幹彦『心身医学』43 (9) 617-618
- 「「パラノイア」の名前 あるパラドックス (抄)」山岸洋『臨床精神病理』24 (1) 47
- #### 05 医師会・学会
- 「【わが国における精神医学・医療の歴史と展望】日本精神神

- 経学会創立の歴史的意義とその理念のその後の発展」秋元波留夫『精神神経学雑誌』105 (6) 703-706
- 「日本頭痛学事始 懇談会が研究会になった頃まで」朝倉哲彦『日本頭痛学会雑誌』30 (1) 9-13
- 「15年戦争と日本民族衛生学会 (その1) 発足の背景とその発会の経緯・理念について」苜昭三『一五年戦争と日本の医学医療研究会会誌』3 (2) 11-16
- 「日本泌尿器科学会九〇年をふりかえって」大越正秋『日本泌尿器科学会雑誌』94 (1) 1-7
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 犯罪精神医学の学会史」小田晋『最新精神医学』8 (1) 73-78
- 「日本看護研究学会の活動の歴史と今後の課題 (抄)」川村佐知子『日本看護研究学会雑誌』26 (3) 88-89
- 「続北海道医史学研究会設立の頃 菊田道彦『北辰』(5) 32-33
- 「青年期を迎える日本呼吸器外科学会 (抄)」小林紘一『日本呼吸器外科学会雑誌』17 (3) 251
- 「日本歯科医師会の歩んできた道」榎原悠紀田郎『日本歯科評論』(733) 159-165
- 「日本口腔科学会の生い立ち (抄)」佐々木元賢『日本口腔科学会雑誌』52 (6) 295-296
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本バイオフィードバック学会」西村千秋『最新精神医学』8 (2) 171-177
- 「わが国における精神医学・医療の歴史と展望」「日本神経学会」と雑誌「神経学雑誌」の歴史的意義」松下正明『精

- 神神経学雑誌』105 (6) 707-710
- 「高木兼寛、北里柴三郎らの医師会設立までの苦闘 日本医師会前史」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』118 (1) 33-41
- 「日本心身医学会と関連学会の関係のあり方をめぐって 日本歯科心身医学会 (抄)」都温彦『心身医学』43 (1) 81
- 「臨床アレルギー研究会発足・四半世紀の歴史と共に (抄)」宮本昭正『アレルギーの臨床』23 (4) 331-332
- 「日本神経心理学会の歩み 回顧と展望 (抄)」山鳥重『日本神経心理学会 27 回総会プログラム・予稿集』45-46
- 「敗戦後の日本歯科医師会」結城太郎『日本歯科評論』(730) 202-203

06 医史学一般

- 「雑誌「人性」を読む」苜昭三『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』4 (1) 18-22
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 71 人工臓器」渥美和彦『日医ニュース』(1005) 4
- 「医のことは (その130)」荒井保男『新薬と治療』53 (5) 39-41
- 「オランダの薬店の木製開口 人頭看板 (Gapers) について (抄)」石田純郎『医譚』(96) 35-36
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 68 パパニコローテスト」石原力『日医ニュース』(1002) 4

- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 69 カレルー血管縫合の成功」太田和夫『日医ニュース』(1003) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 76 イタイイタイ病」大野岩男、細谷龍男『日医ニュース』(1010) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 67 パヴロフと条件反射」岡田靖雄『日医ニュース』(997) 4
- 「毒菌史 幕末までの死亡例 (抄)」奥沢康正『医譚』(97) 77-78
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 63 自己免疫疾患」奥村康『日医ニュース』(992) 4
- 「影真堂鶴飼玉川撮影「三浦真像」発見をめぐる」片桐一男『洋学史研究』(20) 136-153
- 「「病院」と「hospital」」金久保好男『日本医療薬学会会報』7 (4) 3-7
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 70 脳解剖学と小川鼎三先生—錐体外路系における赤核の研究—」神谷敏郎『日医ニュース』(1004) 4
- 「日本の健康概念のこれまでとこれから」北澤一利『体育学研究』48 (1) 49-56
- 「医と薬と (抄)」栗本宗治『医譚』(96) 32-33
- 「体温医学研究の歴史 (前現代史)」黒島 晨汎『日本生気象学会雑誌』40 (1) 25-34
- 「『風土記』の中の身体に関わる表現 (抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』49 (1) 46-47

- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 75 内科学の巨星 熊谷岱蔵 結核対策と人間教育に精魂」濃沼信夫『日医ニュース』(1009) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 72 わが国における近代整形外科学の基礎を創った神中正一先生」小林晶『日医ニュース』(1006) 4
- 「熱帯医学の歴史上の偉大な名前 (THE GREAT NAMES OF HISTORY IN TROPICAL MEDICINE) (英語) (抄)」Kobayashi Teruyuki『日本熱帯医学会雑誌』31 (1) 19
- 「医学こぼれ話①花を鎮め、疫病を鎮める～鎮花祭由来記」酒井シヅ『きょうの健康』(181) 113
- 「医学こぼれ話②中国の解剖図、五臓六腑」酒井シヅ『きょうの健康』(182) 107
- 「医学こぼれ話③妊娠のこと」酒井シヅ『きょうの健康』(183) 114
- 「医学こぼれ話④—⑤貝原益軒と『養生訓』(その一、二)」酒井シヅ『きょうの健康』(184-185) 133
- 「医学こぼれ話⑥—⑦華岡青洲と乳がん手術 (その一、二)」酒井シヅ『きょうの健康』(186-187) 133, 81
- 「医学こぼれ話⑧鍼灸治療と健康」酒井シヅ『きょうの健康』(188) 91
- 「医学こぼれ話⑨按摩治療と健康」酒井シヅ『きょうの健康』(189) 85
- 「医学史」酒井シヅ『新医学概論』森岡恭彦、村上陽一郎、

- 養老孟司 (編著) 産業図書 1-22
- 「世界に誇る日本の医学研究者 はじめに」酒井シヅ『医学のあゆみ』207 (2) 97
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 73 足立文太郎と脈管解剖学」坂井建雄『日医ニュース』(1007) 4
- 「Perspectives on the Evolution of Japanese Medicine」Shizu Sakai『日本医史学雑誌』49 (4) 747-756
- 「特定領域研究「我が国の科学技術黎明期資料の体系化に関する調査・研究」(略称「江戸モノづくり」) についての報告 (抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』49 (1) 14-15
- 「医療史回遊紀行 良寛の老後を介護した貞心尼」篠田達明『GPnet』50 (1) 68-69
- 「医療史回遊紀行 がん告知を医師に迫った明治の思想家 中江兆民」篠田達明『GPnet』50 (2) 76-77
- 「医療史回遊紀行 江戸時代に健康法のテキスト『養生訓』を著した貝原益軒」篠田達明『GPnet』50 (3) 74-75
- 「医療史回遊紀行 野口英世の命を奪った黄熱病」篠田達明『GPnet』50 (4) 74-75
- 「医療史回遊紀行 昭和の大横綱双葉山が患ったウイルス性肝炎」篠田達明『GPnet』50 (5) 74-75
- 「医療史回遊紀行 ハンセン病に悩んだ関ヶ原の勇者 大谷吉継」篠田達明『GPnet』50 (6) 68-69
- 「医療史回遊紀行 江戸時代に女医を開業した土佐の野中婉」篠田達明『GPnet』50 (8) 72-73
- 「医療史回遊紀行 江戸の小石川養生所を創設した町医者 小川笙船」篠田達明『GPnet』50 (10) 70-71
- 「医療史回り舞台 ” 闘う医魂 “ 反骨の細菌学者・北里柴三郎」篠田達明『整形・災害外科』46 (4) 349
- 「医療史回り舞台 鎌倉時代の睡眠時無呼吸症候群」篠田達明『整形・災害外科』46 (6) 746
- 「医療史回り舞台 野口英世の左手」篠田達明『整形・災害外科』46 (10) 1280
- 「なぜ日本では「ドナ」を志望する人が少ないのか (抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』49 (1) 126-127
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 65 心臓冠動脈バイパス術 (その1)」鈴木章夫『日医ニュース』(995) 4
- 「長寿・消化器・職の歴史探訪 (Ⅱ) 奈良時代」中澤三郎『老年消化器病』15 (2) 173-176
- 「横浜港遷卒養生之規則について (抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』30 (1) 90
- 「横浜港遷卒養生之規則について (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』49 (2) 375-376
- 「原点で見る先駆者達①蛋白性感染性因子 (プリオン) の予感」中山宏明『ミクروسコピア』20 (1) 21-23
- 「原点で見る先駆者達②謎の血清蛋白質 “CRP” の発見」中山宏明『ミクロスコピア』20 (2) 117-119
- 「原点で見る先駆者達③DNAの世紀の幕を開く」中山宏明

- 【ミクロスコピア】20 (3) 209-212
- 「原点で見る先駆者達④遺伝情報の本質を見抜く」中山宏明
【ミクロスコピア】20 (4) 309-311
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 78 森永ヒ素ミ
ルク中毒事件」西正美『日医ニュース』(1014) 4
- 「まちづくり思想と医療の関連性の考察 (その三)」西巻明彦
【日本歯科医史学会々誌】25 (2) 85
- 「医療とアメニティの関連性の考察 (その六) (抄)」西巻明
彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌】25 (2) 84
- 「薛立斎の思想の日本での受容について (抄)」西巻明彦、屋
代正幸、藤野瑄男『日本歯科医史学会々誌】25 (2) 95
- 「古代ギリシャの医学思想」平尾真智子『哲学 | 看護と人間
に向かう哲学』ヌーベルヒロカワ 55-63
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 74 日本住血吸
虫の発見」藤田紘一郎『日医ニュース』(1008) 4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 77 水俣病の意
義と歴史」二塚信『日医ニュース』(1011) 4
- 「遠隔と近接 (抄)」ヴォルフガング ミヒェル『日本医史学
雑誌】49 (1) 34-35
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 64 悪性貧血治
療の成功 (ビタミンB12の開発)」山田光男『日医ニュー
ス』(993) 4
- 「[馬琴日記]に見られる医療観 (抄)」湯浅高行、藤野瑄男、
屋代正幸『日本歯科医史学会々誌】25 (2) 88

07 医の倫理

- 「【EBM時代の整形外科治療戦略】医の倫理と先端医療
医療倫理の歴史と概念」大林雅之『整形外科】54 (20)
1081-1088
- 「インフォームド・コンセントの概念と作業療法 イン
フォームド・コンセントの歴史」岡本珠代『作業療法
ジャーナル】37 (7) 736-740
- 「【医療倫理】医の倫理・総論 日米の比較と未来への展望」
木村利人『心療内科】7 (5) 355-360
- 「患者と医者、その古くて新しい関係 歴史からみた患者と
医者関係 (1)」杉崎正志『日本歯科評論』(726) 189-191
- 「医の倫理の標語・「医は意なり」(抄)」関根透『日本歯科
医療管理学会雑誌】38 (1) 56-57
- 「みんなのやさしい生命倫理 日本の生命倫理の歴史(3,4)」
谷田憲俊『薬のチェックは命のチェック』(11,12) 42-45,
36-39

08 医療器械

- 「【細隙灯顕微鏡の全て】細隙灯顕微鏡の歴史」永田誠『眼
科診療プラクティス】97,124-125
- 「消化管内視鏡の発展を辿る その八 胃カメラによる早期
胃癌の分類」丹羽寛文『ミクロスコピア】20 (1) 28-35
- 「消化管内視鏡の発展を辿る その九 ファイバー光学系の
発展」丹羽寛文『ミクロスコピア】20 (2) 134-138

「消化管内視鏡の発展を辿る その十 ファイバースコープ
が生まれるまで」丹羽寛文『ミクروسコピア』20 (3)
216-221

「日本における超音波内視鏡 (EUS) 開発の歴史 (抄)」福田
守道『超音波医学』30 (Suppl.) S69

「硬性気管支鏡の操作 歴史と現代の適応」水渡哲史『気管
支学』25 (6) 462-468

09 医療制度史・医療史

「薬剤師と医師が激しく対立した大正期の医薬分業」天野宏
『薬史学雑誌』38 (2) 129-133

「コンドラチェフの波 歴史の反復 (抄)」太田保世『太田綜
合病院学術年報』(38) 110-112

「治安維持法下の拘禁精神病 伊藤千代子の死」小口廣登
『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』3 (2) 17-21

「母子保健人口増殖国策史」尾澤彰宣『15年戦争と日本の医
学医療研究会会誌』3 (2) 6-7

「昭和20年4月歯科医師への医師免許特例措置」小関恒雄
『日本医史学雑誌』49 (2) 335-352

「大正から昭和初期における学校歯科保健教育活動小史 学
校歯科医、学校看護婦の職務内容と歯科衛生教授、歯科衛
生訓練」鈴木千春、渡邊貢次『口腔衛生学会雑誌』53 (3)
171-180

「医薬品産業ビジョンなど行政の動向」高山昌也『薬史学雑

誌』38 (2) 134-138

「資料・植民地時代の東南アジア各地の医療制度 二、英国
領緬甸における医療制度」寺畑喜朔『医譚』(96) 19-26

「資料・植民地時代の東南アジア各地の医療制度 英国領北
ボルネオ、サワラクにおける医療制度 (抄)」寺畑喜朔
『医譚』(97) 68-70

「オセアニアの人々の健康 その歴史的背景と環境条件 (抄)」
中澤港『日本熱帯医学会雑誌』31 (増刊 (国際保健医 18
増)) 115

「【デイケアの現在】わが国におけるデイケアの発展 諸外国と
の比較を含めて」西園昌久『最新精神医学』8 (5) 409-416

「隠喩としてのオンコセルカ メキシコ・チアパス州の日系
人社会の病気観に対する医療人類学的アプローチ (抄)」
平野裕子 [小原]、赤羽啓栄『日本熱帯医学会雑誌』31
(増刊 (国際保健医 18 増)) 251

「大正から昭和初期における学校歯科保健教育活動小史 社
会の動向」渡邊貢次、鈴木千春『口腔衛生学会雑誌』53
(2) 83-90

10 衛生史・公衆衛生史・予防医学史

「日本における法定伝染病統計の分析 1900-1960 (二) 抄」
市川智生 49 (1) 146-147

「公衆衛生・優生学・恋愛結婚 日本におけるその近代史の
素描」加藤秀一『公衆衛生』67 (9) 683-687

- 「15年戦争下の京都大学医学生の結核調査活動の報告 治安維持法による弾圧」金森ひろたか『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』4 (1) 6-8
- 「保健所の変遷 組織変革の一ケース (抄)」金子雅彦『保健医療社会学論集』14 (特別) 76
- 「イトムカ水銀鉱山における水銀中毒症研究の系譜 橋場亮二らの労働衛生研究から北大精神科・公衆衛生合同調査を経て、閉山後の後遺症追跡へ (抄)」岸玲子、福地保馬『産業衛生学雑誌』45 (3) 121-122
- 「花柳病—性病—性感染症 その予防啓発の100年の歴史」熊本悦明『日本性感染症学会誌』14 (2) 31-32
- 「高野長英「避疫要法」を読む—近代的な公衆衛生学の取り込み— (抄)」斉藤三朗『神奈川医学会雑誌』30 (1) 91
- 「HISTORY ワクチンの話 (最終回)」酒井シヅ『BIO Clinica』18 (2) 173-175
- 「【公衆衛生が進めるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ】日本におけるリプロダクティブ・ヘルスの歴史」迫田朋子『公衆衛生』67 (2) 113-115
- 「日本における法定伝染病統計の分析 1900—1960 (1) (抄)」鈴木仁兄『日本医史学雑誌』49 (1) 144-145
- 「【保健・福祉の仕組みの変遷】学校保健の変遷」高石昌弘『保健の科学』45 (1) 7-11
- 「【保健・福祉の仕組みの変遷】産業保健の変遷」高田昂『保健の科学』45 (1) 12-18

- 「日本における法定伝染病統計の分析 1900-1960 (3) (抄)」永島剛『日本医史学雑誌』49 (1) 148-149
- 「『日本二於ケル學校衛生ノ現状ニ関スル統計資料』の戦後学校保健政策上の位置」七木田文彦『学校保健研究』45 (2) 121-144
- 「産業医学いまむかし (1) 労働科学の目で」野村茂『労働の科学』58 (1) 34-35
- 「産業医学いまむかし (2) 医学と心理学と」野村茂『労働の科学』58 (2) 100-101
- 「産業医学いまむかし (3) 原因の原因を」野村茂『労働の科学』58 (3) 156-157
- 「産業医学いまむかし (4) 「産業医学」という用語のこと」野村茂『労働の科学』58 (4) 218-219
- 「産業医学いまむかし (5) 産業医活動のはじめ」野村茂『労働の科学』58 (5) 280-281
- 「産業医学いまむかし (6) 産業結核の今昔」野村茂『労働の科学』58 (6) 348-349
- 「産業医学いまむかし (7) 北里柴三郎博士と結核と」野村茂『労働の科学』58 (7) 414-415
- 「産業医学いまむかし (8) 工場法制定の前後」野村茂『労働の科学』58 (8) 472-473
- 「産業医学いまむかし (9) 工場監督官のはじめ」野村茂『労働の科学』58 (9) 542-543
- 「産業医学いまむかし (10) 工場鉱山衛生調査室の誕生」野

- 村茂『労働の科学』58 (10) 606-607
- 「産業医学いまむかし (11) 健康保険法の登場」野村茂『労働の科学』58 (11) 672-673
- 「産業医学いまむかし (12) 産業衛生協議会の頃」野村茂『労働の科学』58 (12) 740-741
- 「日本の労働衛生史と産業医活動 (抄)」野村茂『産業衛生学雑誌』45 (3) 123-124
- 「日本における法定伝染病統計の分析 1900—1960 (四) (抄)」平山勉『日本医史学雑誌』49 (1) 150-151
- 「【保健・福祉の仕組みの変遷】国民栄養調査法の変遷」藤沢良知『保健の科学』45 (1) 31-35
- 「大正期における道内炭鉱の健康調査資料について」古屋統『北方産業衛生』(44) 33-38
- 「夕張炭鉱病院長白川政治とその人脈 じん肺研究と対策・北の夜明け (抄)」古屋統『産業衛生学雑誌』45 (3) 121
- 「鉛中毒の歴史に関する研究 (2) 平井毓太郎教授による「仮称所謂脳膜炎ハ慢性鉛中毒症ナリ」(1924) に対する考察 (抄)」堀口俊一『産業衛生学雑誌』45 (臨増) 675
- 「『横手社会衛生叢書』のひとびと」水野洋『医学史研究』(84) 9-15
- 「【保健・福祉の仕組みの変遷】学校給食 今・昔」吉田真理子『保健の科学』45 (1) 36-40
- 「『DDT革命』とその時代」渡部幹夫『順天堂医学』49 (2) 260-261

- 「京都・島根ジフテリア予防接種禍についての京都府記録とGHQ文書 (抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』49 (1) 122-123
- 「昭和二十四年の岩ヶ崎接種結核事件について—GHQ文書と日本の資料」渡部幹夫『日本医史学雑誌』49 (3) 479-492
- 「岩崎一平先生と炭坑夫の振動障害 (抄)」渡部真也『産業衛生学雑誌』45 (3) 121

11 解剖学史

- 「江戸の解剖学」秋葉哲生『慶應医学』80 (4) 154-155
- 「まんが医学の歴史 ルネサンス 解剖学の夜明け」茨木保『看護学雑誌』67 (9) 918-923
- 「篤志解剖第一号「美幾女 (みきじょ)」について」上野陽里『医学史研究』(84) 25-30
- 「解體新書の謎 12 蔵志にみる解剖学」大城孟『大塚葉報』(582) 63-67
- 「解體新書の謎 13 玄白 千住骨ヶ原へ」大城孟『大塚葉報』(583) 63-67
- 「解體新書の謎 14-21 ターヘル・アナトミア翻訳」大城孟『大塚葉報』(584-591) 61-65, 63-67, 59-63, 45-49, 49-54, 53-58, 45-50, 49-54
- 「Thomas Willis の Cerebri Anatome について—脳神経系を中心に (抄)」門田永治『日本医史学雑誌』49 (1) 116-117
- 「ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究 (二) —第

- 三・四対の脳神経を例にとって (抄) 坂井建雄『日本医史学雑誌』49 (1) 112-113
- 「ガレノス『神経の解剖について』—ギリシャ語原典からの翻訳と考察—」坂井建雄、池田黎太郎、月澤美代子『日本医史学雑誌』49 (3) 403-454
- 「倫理問題 献体・教育・研究 献体法の成立の歴史 (抄)」佐藤達夫『解剖学雑誌』78 (Suppl.) 132
- 「国内の解剖約圖について (23)」佐藤充男『医譚』(97) 1-22
- 「福井市立郷土歴史博物館所蔵キュンストレーキの解組調査と画像データベースを利用したの九大人体模型との比較」月澤美代子『江戸のモノづくり第三回国際シンポジウム 近世日本における科学と技術の源流』165-168
- 「九州大学医学部所蔵キュンストレーキについて (抄)」月澤美代子、酒井シヅ、ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』49 (1) 16-17
- 「江戸時代人の歯冠サイズの地理的変異」長岡朋人、平田和明『Anthropological Science (Japanese Series)』111 (2) 143-154
- 「人体問答図解について (抄)」山口秀紀、加來洋子、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 86
- 「網内系はもうないか その三 網内系学説の源流を求めて」和気健二郎『ミクロスコピア』20 (1) 15-20
- 「網内系はもうないか その四 鈴木清先生とライデンの研究者たち」和気健二郎『ミクロスコピア』20 (2) 101-105

「網内系はもうないか その五 (完) 単核食細胞系は網内系の一部である」和気健二郎『ミクロスコピア』20 (3) 197-202

12 眼科史

- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】世界と日本の眼科の歴史 江戸末期オランダ医学と日本の眼科」安達恵美子『眼科診療プラクティス』93, 32-35
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の疾病・研究史 網膜剥離」安藤文隆『眼科診療プラクティス』93, 106-112
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Jules Gonin (1870-1935)」安藤文隆『眼科診療プラクティス』93, 151
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Charles L Schepens (1912-)」出田秀尚『眼科診療プラクティス』93, 167
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 井上達二と後頭葉視覚中枢」井上治郎『眼科診療プラクティス』93, 184-186
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科学術交流の歴史 眼科学雑誌 (世界・日本) の変遷 社会情勢の変化と時の流れによる眼科雑誌の発展と消長を見る 眼科学雑誌第一巻第一号」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93,

- 136-141
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の歴史散歩 各界で名をはせた眼科医」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 201-203
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の歴史散歩 眼科学の進歩に貢献した学者」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 204-207
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の歴史散歩 眼病を患った有名人」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 208-211
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Friedrich Wilhelm Ernst Albrecht von Graefe (1828-1870)」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 152-153
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Hermann Ludwig Ferdinand von Helmholtz (1821-1894)」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 155-156
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Theodore Leber (1840-1917)」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 157-158
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 視覚生理」大庭紀雄『眼科診療プラクティス』93, 44-49
- 「眼科学の歴史漫歩(症)」大庭紀雄『眼科臨床医報』97 (4) 327
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 石原忍と色覚検査表」岡島修『眼科診療プラクティス』93, 182-183
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Heinrich Mueller (1820-1864)」沖坂重邦『眼科診療プラクティス』93, 161
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Lorenz E Zimmerman (1920-)」沖坂重邦『眼科診療プラクティス』93, 168
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 病理学」沖坂重邦『眼科診療プラクティス』93, 50-55
- 「【厚生新編】から見た眼科用語」奥沢康正『医譚』(97) 23-38
- 「江戸期の眼科医達(抄)」奥沢康正『医譚』(96) 31-32
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科学術交流の歴史 眼科学雑誌(世界・日本)の変遷 社会情勢の変化と時の流れによる眼科雑誌の発展と消長を見る」奥沢康正『眼科診療プラクティス』93, 123-135
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】世界と日本の眼科の歴史 世界の眼科史通覧」奥沢康正『眼科診療プラクティス』93, 2-15
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 増田隆と中心性網膜炎」奥沢康正『眼科診療プラクティス』93, 173-175

- 「日本で翻訳された眼科洋書—刊本・写本類から—」奥沢康正『啓迪』(21) 36-66
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】世界と日本の眼科の歴史 日本の眼科史通覧 (明治以前)」奥沢康正、野中杏一郎『眼科診療プラクティス』93, 16-24
- 「【白内障手術の歴史】奥沢康正、野中杏一郎『第42回日本白内障学会・第18回日本眼内レンズ屈折手術』1-39
- 「江戸期の義眼史 (抄)」奥沢康正、広瀬秀『日本医史学雑誌』49 (1) 68-69
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 小口忠太と小口病と水尾・中村現象」小口芳久『眼科診療プラクティス』93, 176-177
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の検査・研究史 眼底検査・細隙灯顕微鏡検査」加藤桂一郎『眼科診療プラクティス』93, 79-83
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Ernst Fuchs (1851-1930)」加藤桂一郎『眼科診療プラクティス』93, 148
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Sir William Bowman (1816-1892)」加藤桂一郎『眼科診療プラクティス』93, 145
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 高安右人と高安病」河崎一夫『眼科診療プラクティス』93, 170-172

- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Hans Goldmann (1899-1991)」岸章治『眼科診療プラクティス』93, 149-150
- 「【眼感染症診療ガイド】眼感染症への取り組み・いまむかし 眼感染症 故きを温ねて」北野周作『臨床眼科』57 (11) 86-88
- 「戦前障害者政策の生成 視覚障害者教育政策の日韓比較」金蘭九『九州看護福祉大学紀要』4 (1) 139-154
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 小柳美三と Vogt-小柳病」桑島治三郎『眼科診療プラクティス』93, 178-179
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 眼鏡・コンタクトレンズ」湖崎克『眼科診療プラクティス』93, 62-67
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の疾病・研究史 白内障」佐々木一之『眼科診療プラクティス』93, 89-93
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Gerd Meyer-Schwickerath (1920-1992)」清水弘一『眼科診療プラクティス』93, 162-164
- 「眼科リハビリテーションにおける医療と福祉の統合過程—順天堂大学眼科リハビリテーションクリニックの活動から」高林雅子『日本医史学雑誌』49 (4) 581-614
- 「順天堂大学眼科リハビリテーションクリニックの歴史的意

- 義 (抄) 高林雅子『日本医史学雑誌』49 (1) 70-71
- 「網膜剥離の治療の変遷 (その1-2)」竹内忍『Ophthalmic Surgeons』2巻合本, 63-65, 87-89
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科学術交流の歴史 国際眼科学会の変遷」田野保雄『眼科診療プラクティス』93,118-122
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Robert Machemer (1933-)」田野保雄『眼科診療プラクティス』93, 159-160
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】世界と日本の眼科の歴史 日本の眼科史通覧 (明治以降)」千葉彌幸『眼科診療プラクティス』93,25-31
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の検査・研究史 視機能検査 (視力・視野・眼圧)」所敬『眼科診療プラクティス』93, 74-78
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Allvar Gullstrand (1862-1930)」所敬『眼科診療プラクティス』93, 154
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Frans C Donders (1818-1889)」所敬『眼科診療プラクティス』93, 147
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Jose I Barraquer (1916-1998)」所敬『眼科診療プラクティス』93, 144
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Ramon Castroviejo (1905-1987)」所敬『眼科診療プラクティス』93, 146
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 眼光学 (屈折・調節)」所敬『眼科診療プラクティス』93,56-60
- 「文庫の窓から「外療細ざん」にみられる眼病療治」中泉行史、中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』57 (13) 1836-1837
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 色覚検査法の歴史 主として仮性同色表について」深見嘉一郎『眼科診療プラクティス』93,68-73
- 「色覚異常の用語に関する歴史的考察」深見嘉一郎『日本の眼科』74 (3) 295-296
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 北川・櫻井艶と Sakurai-Lisch nodule」藤野貞『眼科診療プラクティス』93,190-191
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 原田永之助と原田氏病」藤野貞『眼科診療プラクティス』93,180-181
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】現代眼科学を築いた人々 Sir Harold Ridley (1906-2001)」三宅謙作『眼科診療プラクティス』93,165-166
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】歴史に残る本邦眼科医の業績 浦山晃と急性網膜壊死 (桐澤型ブドウ膜

- 炎) 山田西之『眼科診療プラクティス』93,187-189
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の歴史散歩 切手で見える眼科散歩」山之内如一『眼科診療プラクティス』93,194-200
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の疾病・研究史 感染症」渡邊郁緒『眼科診療プラクティス』93,84-88
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の疾病・研究史 緑内障」渡邊郁緒『眼科診療プラクティス』93,94-99
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼の構造と機能・研究史 解剖・生理」渡邊郁緒『眼科診療プラクティス』93,38-43
- 「【眼科学の歴史 現代眼科学を築いた人々】眼科の疾病・研究史 斜視(眼球運動)」渡辺好政『眼科診療プラクティス』93,100-105

13 看護史

- 「看護実践・教育における対人関係論の活用 40年間の歩みを振り返って」池田明子『日本看護研究学会雑誌』26(1) 15-21
- 「福島県における明治・大正生まれの開業助産師の活動 地域に密着した活動(抄)」石田登喜子『日本助産学会誌』16(3) 164-165
- 「長崎大学医学部附属病院における透析医療と看護の歴史 血液透析黎明期を中心に」岩永喜久子、福田良一、原田孝司、河野茂、錦戸賀春、古賀成彦、金武洋『長崎大学医学部保健学科紀要』16(1) 13-18
- 「GHQ看護課長 G.E.Alt と V.M.Ohlson ふたりの役割と日本人に残した印象(抄)」大石杉乃『日本看護科学学会学術集会講演集』(23) 371
- 「看護改革に参画した人々、看護政策の策定過程と看護改革、史料」大石杉乃『日本看護協会出版会戦後日本の看護改革—封印を解かれたGHQ文書と証言による検証』19-56, 57-86, 169-367
- 「GHQによる看護改革の流れ—GHQ看護課・課長 G.E.Alt に対する協調と対立の構図(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』49(1) 124-125
- 「第二次世界大戦後の済生館における看護教育の歴史 甲種看護婦養成所設立までの経緯」大沼優子、鈴木由美子『山形市立病院済生館医学雑誌』28(1) 3-10
- 「〈参考資料〉大関和(ちか)年譜」上坂良子『医学史研究』(84) 18-24
- 「大関和が書いた「建議書」の意義 看護管理の視点から(抄)」上坂良子『医譚』(97) 95-96
- 「大関和の看護観と看護活動の今日的意義(抄)」上坂良子『医譚』(96) 37
- 「大関和(ちか)の看護倫理観」上坂良子『医学史研究』(83) 1-13
- 「近代看護から生まれた「看護書」にみる看護管理の原型

- 近代看護初期の三人の看護書を通して (抄) 上坂良子『医譚』(97) 80-81
- 「近代看護の創設と大関和 (抄)」上坂良子『神奈川医学会雑誌』30 (2) 250
- 「歴史からみた保健師活動の特徴 北海道における開拓保健婦の活動記録から」近藤明代『保健婦雑誌』59 (8) 764-769
- 「占領期における Nursing Education Council の審議内容の検討 (抄)」佐藤公美子『日本看護科学学会学術集会講演集』(23) 373
- 「占領期の軍政部記録にみる山梨県と徳島県の看護活動 (抄)」佐藤公美子、坪井良子『日本看護研究学会雑誌』26 (3) 427
- 「占領期における Nursing Education Council の検討—第1回から第7回の議事録から (抄)」佐藤公美子、坪井良子、奥宮暁子、平尾真智子、石川ふみよ『第23回日本看護科学学会発表抄録』273
- 「歴史に学ぶ専門職の栄枯盛衰 変革期の社会を生きる知恵 (抄)」清水忠彦『日本看護研究学会雑誌』26 (3) 92
- 「保健師制度再考 わが国の保健師制度の歴史と展望 いまこそ看護師資格との一本化を」菅原京子『保健婦雑誌』59 (4) 334-343
- 「『看病用心抄』の著者について (抄)」関根透『日本医史学雑誌』49 (1) 44-45
- 「日本における仏教看護の歴史 看護の歴史的研究(その一)」

- 関谷由香里『日本赤十字広島看護大学紀要』(3) 77-85
- 「日本の看護歴史関連史料の専門的な基盤整備に向けての取り組み 失われつつある貴重な史料をいかにして収集し、保存するのか (抄)」高橋みや子、大平政子、依田和美、玄田公子、福本恵、岡山寧子『日本看護科学学会学術集会講演集』(23) 610
- 「近代日本における看護制度の展開過程 看護職の制度化と職業化について」滝下幸栄、岩脇陽子、松岡知子『京都府立医科大学看護学科紀要』12 (2) 97-109
- 「日本赤十字社幹部看護師研修所 50 年の足跡」築原綾子、金田有里子、高橋江美子、増子ひさ江、大伍マサヨ『日本赤十字社幹部看護婦研修所紀要』(16) 50-72
- 「GHQ 占領下におけるわが国の看護教育の成立過程 東京看護教育模範学院の成立と展開」坪井良子、奥宮暁子、平尾真智子、石川ふみよ、佐藤公美子『聖路加看護学会誌』7 (1) 34-40
- 「戦前の京都と大阪における The Nurse,s Pledge とナイチンゲール誓詞の斉唱について (抄)」徳川早知子『日本看護科学学会学術集会講演集』(23) 375
- 「『保健婦雑誌』52 年の軌跡から 昭和に活躍した保健婦消えていった開拓保健婦・公衆衛生看護婦・国保保健婦」中野潤子『保健婦雑誌』59 (8) 770-775
- 「『保健婦雑誌』52 年の軌跡から 写真でみる保健婦活動の歴史」名原壽子『保健婦雑誌』59 (8) 746-761

- 【終末期患者の家族への看護】関連論考 文化的多様性と歴史的変遷から見る家族による看取り」波平恵美子『家族看護』1 (2) 89-94
- 「北海道における産業看護活動の歴史 (抄)」樋口治子、西田国子、吉成奈美子、吉田順子、鎌田幸子、中川和子、宮崎由美子、松本洋子、横尾由紀子『産業衛生学雑誌』45 (3) 121
- 「GHQによる看護教育改革と現在への影響 (抄)」平尾真智子『第17回日本看護歴史学会講演集』17
- 「日本における看護教育の歴史」平尾真智子『医学書院看護教育の原理と実際』68-86
- 「GHQ占領下におけるわが国の看護教育の成立過程—東京看護教育模範学院の成立と展開」平尾真智子、坪井良子、奥宮暁子、石川ふみよ、佐藤公美子『聖路加看護学会誌』7 (1) 34-39
- 「高野長英の『避疫要法』と看護 (抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』49 (1) 108-109
- 【医療倫理】看護実践における看護倫理の必要性」平山恵美子『心療内科』7 (5) 366-371
- 「大分県の高等女学校における看護教育の変遷 明治、大正期から第二次世界大戦終戦まで」藤内美保、吉厚厚子、八代利香『Quality Nursing』9 (8) 699-705
- 「日本における看護婦養成教育のはじまり」増田芳雄『藍野学院紀要』(16) 17-31
- 【半世紀の軌跡と展望】看護学教育の過去・現在・未来」松岡緑『教育と医学』51 (6) 581-585
- 【『保健婦雑誌』52年の軌跡から 女性雑誌としてながめた『保健婦雑誌』 職業婦人の教養誌から「保健婦」の雑誌へ】松本悦子『保健婦雑誌』59 (9) 868-875
- 「在宅ケアの探究者たち その人と言葉 大関和 (その1-3)」宮崎和加子、竹森志穂『コミュニティケア』(41-43) 44-46, 48-50, 72-74
- 「在宅ケアの探究者たち その人と言葉 保良せき (その1、2)」宮崎和加子、竹森志穂『コミュニティケア』(44, 45) 46-48, 65-67
- 「在宅ケアの探究者たち その人と言葉 リリアン・D・ウォールド」宮崎和加子、竹森志穂『コミュニティケア』(40) 47-49
- 「ストーマリハビリクロナクル 日本におけるストーマケアの胎動 人工肛門装具検討委員会の発足」安富正幸『消化器外科ナーシング』8 (11) 1148-1149
- 「精神科医療・保健・福祉関連職の専門分化課程 (1) —昭和20-30年代に作業療法に従事した看護職の記述からの考察—」柳田純子『日本社会福祉学会第五一回全国大会口頭発表予稿集』
- 【『保健婦雑誌』52年の軌跡から 戦後、地区組織活動の源流をみる 『保健婦雑誌』1951年～1960年の母子活動から】山口忍、『保健婦雑誌』59 (11) 1094-1100
- 「日看情報センター 精神科看護の歩みを振り返る 作業療法・レクリエーションの歩み 写真で見る時代風景」

吉川隆博『精神科看護』(135) 51-57

「日精看情報センター 精神科看護の歩みを振り返る 昭和30～60年頃の入院生活 当時の看護者の証言に基づいて」
吉川隆博『精神科看護』(134) 56-61

「Dr.Friedman,Dr.Miller を迎えして 米国における家族看護の歴史的遺産・家族を取り巻く現状 家族看護学の定義について」リウ知子 [真田]『家族看護学研究』9 (1) 50-55

14 寄生虫学史

「片山病の歴史：広島県片山地方における日本住血吸虫症 (英語) (History of Katayama disease:schistosomiasis japonica in Katayama district,Hiroshima,Japan)」イシイアキラ、ツジモリヤス、タダイサオ『Parasitology International』52 (4) 313-319

「筑後川流域における日本住血吸虫症の歴史的考察 剖検例から何が学べるか? (英語) (A historical view of schistosomiasis japonica in the Chikugo river basin.What can we learn from autopsy?)」ナカシマトシロウ、カゲマサヨシ、ヒラタミスキ『Parasitology International』52 (4) 327-334

「日本における日本住血吸虫症の歴史的考察 山梨県における疾病治療戦略の含意と評価 (英文)」ミナイ マサル、ホサカ ユキオ、オオタ ノブオ『Parasitology International』52 (4) 321-326

15 大学史・教室史

「東北帝国大学の航空医学講座と航空医学研究所の設置について 資料とその解説」一戸富士雄『一五年戦争と日本の医学医療研究会会誌』3 (2) 32-40

「国立台湾大学医学院の医学文化館と院史室の紹介 (抄)」小田皓二『医譚』(97) 81-82

「古典あれこれ 東京大学の二つのミュージアム—東京大学総合研究博物館と医学部標本室—」加我君孝『JOHNS』19 (1) 104-106

「古典あれこれ 東京大学とその周辺 2 江戸の緒方洪庵—若き日の4年間と晩年の10ヶ月—」加我君孝『JOHNS』19 (2) 242-245

「古典あれこれ 東京大学とその周辺 3 文学者の軌跡—樋口一葉、宮沢賢治、森鷗外、夏目漱石—」加我君孝『JOHNS』19 (3) 478-482

「古典あれこれ 東京大学とその周辺 4 岡田和一郎記念室と岡田文庫」加我君孝『JOHNS』19 (4) 602-605

「古典あれこれ 東京大学とその周辺 5 日本耳鼻咽喉科学会創立110年と歴史の節目 2003年—江戸開府400年—」加我君孝『JOHNS』19 (5) 734-737

「『特高月報』から見た名古屋帝大医学部」神谷昭典『医学史研究』(83) 20-29

「『特高月報』から見た名古屋帝大医学部 (補遺)」神谷昭典『医学史研究』(84) 16-17

「京都帝国大学福岡医科大学から九州帝国医科大学への道のり (抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』49 (1) 6-10

「女子医学生達の銃後—東京女子医学専門学校の夏期無料診療活動—」宮崎順子『国立歴史民族博物館研究報告 第101集』307-326

16 軍陣医学史

「第一次世界大戦における陸軍航空医学 (抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』49 (1) 52-53

「ソ満国境要塞と関連する諸問題」竹内治一『医学史研究』(83) 30-38

「【「戦時」から平和への希求】 くり返される「時」—戦争・平和・医療—」野村拓『保団連』(790) 50-55

「軍隊と医学・医療—『軍医団雑誌』の分析を通じて」原田敬一『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』4 (1) 9-17

「八甲田雪中行軍遭難事件 (1902年)における救助活動 (抄)」松木明知『日本臨床救急医学会雑誌』6 (2) 132

「1942年 (14歳) から1953年迄の中国での体験」松下周一『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』4 (1) 1-5

「日本海軍歯科医科士官の歴史「XII」士官教育の課程 (抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 78

18 外科史

「冠動脈外科の過去、現在、未来」浅井徹『滋賀医学』25 (2) 1-4

「創傷治療の進化—古代におけるその起源からここ20年の進歩まで」Ovington Liza G.『Home Care Medicine』4 (2) 22-24

「【知っておきべき各種肛門疾患】痔瘻 痔瘻手術の歴史的変遷」衣笠昭『外科』65 (7) 787-790

「心臓血管外科の創世記のおはなし」小柳仁『Cardiovascular Med-Surg』5 (3) 367-369

「戦争と外科」酒井シヅ『Mamma』(45) 表2

「胃の手術の始まり」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (6) 52

「事の始まり 初めての開腹術」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (3) 60

「事の始まり 甲状腺手術の始まり」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (4) 54

「事の始まり 胆嚢摘出術の始まり」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (5) 53

「事の始まり 虫垂切除の始まり その1」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (8) 99

「事の始まり 心臓血管外科の始まり」笹壁弘嗣『看護実践の科学』28 (13) 99

「吉益東洞〈親試実験〉の背景としての金瘡—医史的概観 (抄)」館野正美『日本医史学雑誌』49 (1) 58-59

「心臓血管外科における3R (修復・切除・移植) から3C (再生・クローン・創造) への転換」田邊達三『日本心臓血管外科学会雑誌』32 (5) 261-266

- 「マイクロサージャリーの歴史 (抄)」玉井進『日本マイクロサージャリー学会会誌』16 (2) 96-97
- 「薛立斎の排膿に関する概念の考察 (抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』49 (1) 48-49
- 「原著を探る 慢性硬膜下血腫の最初の手術」平川公義『Clinical Neuroscience』21 (3) 352-354
- 「甲状腺外科 70年の歩み」藤本吉秀『内分泌外科』20 (1) 7-20
- 「【ラバコレ入門】 歴史と現況」森俊幸『消化器外科』26 (11) 1583-1588

19 細菌学史

- 「世界の細菌学史に残る日本人の足跡 明治・大正・昭和の先人たち」竹田美文『日本細菌学雑誌』58 (4) 645-655

20 産婦人科史

- 「帝王切開 150周年の概要 (抄)」石井照雄『日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌』
- 「150年前秩父の伊古田純道が行った本邦最初の帝王切開術 (抄)」石原力『日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌』33,117
- 「助産婦の歴史 近代の助産婦 英国の助産婦補遺」石原力『ペリネイタルケア』22 (1-12) 38-40,158-159,264-265,320-321,466-467,554-556,630-632,763-765,829-831,956-958,1046-1047,1146-1148

- 「【不妊治療の実際】我が教室における不妊診療 | 歴史と現況」久慈直昭『産婦人科治療』87 (1) 93-99
- 「腔式広汎性子宮全摘出術の歴史と最近の手術術式について」工藤隆一『産婦人科手術』(14) 39-43
- 「唐以前における妊娠の認識について (抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』49 (1) 78-79
- 「21世紀の母と子も幸せに おぎゃー献金 40年の歴史とこれから」力武義之『助産雑誌』57 (7) 597-601

21 歯学史

- 「日本の矯正歯科学の歴史 発展期から現在まで」石川富士郎、鈴木祥井、大野肅英『Orthodontic Waves』62 (5) 311-332
- 「クロールカルシウム静脈注射事件弁論速記「歯科医師の診療能力の範囲」(山崎 佐述)について (抄)」石橋肇、山口秀紀、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 66-67
- 「日本臨床矯正歯科医会 30年の沿革史 創立から10年の歩み (昭和48年~57年)」大坪淳造『日本臨床矯正歯科医会雑誌』14 (2) 12-16
- 「日本臨床矯正歯科医会 30年の沿革史 中間10年の歩み (昭和58年~平成4年)」大野肅英『日本臨床矯正歯科医会雑誌』14 (2) 17-20
- 「スキャンジナビアの歯周病学 約30年間をふりかえって」

- 岡本浩『The Quintessence』22 (1) 151-156
「日本臨床矯正歯科医学会 30 年の沿革史 最近 10 年の歩み (平成 5 年～14 年)」小川邦彦『日本臨床矯正歯科医学会雑誌』14 (2) 21-24
「明治末期における医術開業試験の歯科の合格者の属性の内訳の変遷について (抄)」押小路忠昭『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 71-72
「理論歯科金相學について (抄)」加來洋子、石橋肇、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 87
「【インプラント】その発展の歴史と今後の課題」片桐慎吾、高森等、新谷明喜『DE』(148) 1-2
「【ホワイトニング 審美歯科のメインストリーム】ホワイトニングについてまずこれだけは知っておこう ホワイトニングの歴史」金子潤『歯界展望』別冊ホワイトニング | 審美歯科のメインストリーム、41-48
「福岡県立医学歯学専門学校における臨床細菌検査室について (抄)」上瀉口武、小林繁、上西秀則『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 75-76
「千葉大学医学部歯科口腔外科並びに日本大学歯学部口腔外科の創設者入戸野賢二先生とその著書について—佐藤運雄先生他主な関係者と著書『口腔外科学』について— (抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、若松佳子、小室歳信、丹沢秀樹『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 80-81
「臨床に役立つ咬合学の変遷 咬合論の創世期からナソロジーの提唱、その後」古谷野潔、市来利香『歯科技工』31 (1) 126-129
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 野村順之助 (1908-1985)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (1) 103-115
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 永井巖 (1905-2002)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (2) 111-113
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 関 敏 (1919-1998)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (3) 627-629
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 総山孝雄」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (4) 857-859
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 園山 昇 (1923-1994)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (5) 1079-1081
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 長谷川二郎 (はせがわじろう) (1931-2001)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (6) 1321-1323
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 森崎益夫 人並みはずれたエスプリを持った歯科ジャーナルの隠れたロングライター」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (7) 1555-1557
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 神津文雄 (1908-2002)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (8) 1789-1791
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 佐藤新一 (1911-2003)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (9) 2019-2021
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 砂田今男 (1924-1991)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (10) 2257-2259

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 小室史郎」榊原悠紀田
郎『The Quintessence』22 (11) 2479-2481

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 榎 智光 (1909-2001)」
榊原悠紀田郎『The Quintessence』22 (12) 2717-2719

「口腔科学の生い立ち (抄)」佐藤光信『日本口腔科学会雑誌』
52 (6) 294

「19世紀初頭にまで遡ると考えられる梅之丞の入歯・口中治
療に関する推論—明治21年佐藤太郎吉の新聞広告から—
(抄)」佐藤泰彦『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 89-90

「石塚三郎旧蔵・新潟県歯科医師会日誌—草創期の歯科界を
探る [その1、2] —」佐藤泰彦『日本歯科医史学会々誌』
25 (2) 97-104, 105-107

「[半日閑話] にみられる口中から芳香を出し続けた男の記述
について (抄)」佐藤恭道、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯
科医史学会々誌』25 (2) 57

「[耳囊] に見られる歯痛の治療法について (抄)」佐藤恭道、
戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 64

「熊本県人吉市の遺歯三例について (抄)」洪谷敦、松本晉一
『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 74

「栃原義人氏が熊本県立図書館に寄贈された歯苑社出版の歯
科雑誌 (抄)」嶋村昭辰、上瀧口武『日本歯科医史学会々
誌』25 (2) 77

「Lehrbuch der normale Histologie und Entwicklungs-
geschichte der Zahne des Menschen von Prof. Dr. Wilhelm

Meyer (抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』25 (2)
92-93

「セルロイド製の歯ブラシ (抄)」新藤恵久『日本歯科医史学
会々誌』25 (2) 62

「日本の矯正歯科学の歴史 (I) — (III)」鈴木祥井、石川富士
郎、大野肅英『Orthodontic Waves』62 (2, 5) 75-95, 96-
122, 279-310

「地獄絵にみる抜舌図について」竹原直道『日本歯科医史学
会々誌』25 (1) 21-32

「『外科發揮] にみられる歯科的記載事項 (抄)」陶粟嫻、西
巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 96

「咬合器の歴史考察から誕生したBGN咬合器 (抄)」永田和
弘『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 63

「島峰徹の『Das sekundare Zement』について (その1) (抄)」
西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 91

「宗炳の思想 (抄)」西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々
誌』25 (2) 94

「『口歯類要』に関する考察 (その1) (抄) | 西巻明彦、陶
粟嫻、屋代正幸、藤野珥男『日本歯科医史学会々誌』25
(2) 65

「19世紀プロシア国の歯科診療報酬について—『内務省衛生
局雑誌』第13号 (明治11年刊) 掲載「普魯士国医師定謝
規則」より— (抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』
25 (2) 73

- 「又状研歯と思われる博物館展示資料(抄)」樋口輝雄、中原泉『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 59
- 「Chapin A. Harris の歯科医学への貢献と著書 “Principles and Practice of Dental Surgery” について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 60-61
- 「新潟県津南町芦ヶ崎及び西平地区から発見された人骨に認められた対称的に嵌入した犬歯(抄) (Symmetrically impacted canines found in the human skeletal remains Ashigasaki-nishidaira site, Tsunan town, Niigata Prefecture) (英語)」Fujita Hisashi, Hirano Hirohiko, Sato Masaichi『Anthropological Science』111 (1) 138
- 「ジョン M. リッグズと歯周病治療に関する研究(その3) リッグズ著歯周病の外科治療法に関する現代の視点からの分析と評価 | 牧野信之、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 108-111
- 「江戸幕府の口科医の各家の系譜について2」松本康博『日本歯科医史学会々誌』25 (1) 12-15
- 「江戸幕府の口科医の各家の血縁、姻戚関係について3」松本康博『日本歯科医史学会々誌』25 (1) 16-20
- 「歯科矯正学と共に半世紀 宿老の懺悔と愚見」三浦不二夫『日本臨床矯正歯科医会雑誌』14 (2) 30-38
- 「縄文時代抜糸の風習(抄)」水川秀梅、辛島清澄『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 58
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 木床

- 義歯—入歯師と江戸の有名作家たち」本平孝志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』28 (9) 1258-1264
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 木床 義歯のルーツ」本平孝志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』28 (10) 104-111
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 日本固有の木の文化の継承(1、2)」本平孝志、内藤達郎『Quintessence of Dental Technology』28 (11, 12) 110-116, 1670-1675
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 日本のお歯黒文化(その1、2)」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』28 (4, 5) 552-560, 684-694
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 爪楊枝の歴史楊枝から歯ブラシ、歯磨剤(その1、2)」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』28 (6, 7) 119-130, 108-120
- 「歯科の歴史への招待 歴史遺産と史料を求めての旅 木床 義歯 入歯師の誕生」本平孝志、内藤達郎、安藤嘉明『Quintessence of Dental Technology』28 (8) 1124-1134
- 「アメリカ歯科医史学会 50年の歴史(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 68-69
- 「アメリカ歯科医史学会会誌 50年の書誌学(その1) 初期の試行より季刊誌へ(抄)」森山徳長『日本歯科医史学

- 會々誌』25 (2) 70
- 「チワキイズムの一考察 (抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 79
- 22 史跡・記念碑
- 「生家跡の「洪庵緒方先生碑」の建立について (抄)」中山沃『医譚』(96) 38-39
- 23 疾病史
- 「【病態解明と治療の最前線】D I C今昔物語 (3)」青木延雄『医薬の門』43 (2) 245-249
- 「わが国における結核の推移と変貌」泉孝英『医学史研究』(83) 39-45
- 「先天性股関節脱臼の治療と研究の歴史」猪又義男『岩手医学雑誌』55 (2) 79-87
- 「薬害の歴史 薬害ヤコブ病」上田宗『薬のチェックは命のチェック』(12) 40-46
- 「新聞報道にみるスペインかぜ 流行の惨禍と影響 (2)」加地正郎『インフルエンザ』4 (4) 378-383
- 「スペインかぜ大流行 歴史に学ぶ」加地正郎『インフルエンザ』4 (1-4) 59-66, 155-161, 261-271, 369-376
- 「【プリオン病の新しい展開】プリオン病研究の歴史と最近の進歩」金子清俊『最新医学』58 (5) 959-964
- 「三世代にわたる先天白内障の一家系」木下明夫、北岡隆、高義則、雨宮次生『臨床眼科』57 (3) 329-331
- 「インフルエンザの歴史 (抄)」木村丹『医譚』(97) 81
- 「糖尿病の歴史 糖尿病腎症の概念の確立」葛谷健『肥満と糖尿病』2 (1) 134-136
- 「糖尿病の歴史 持続性インスリン製剤の開発とインスリン療法の変遷」葛谷健『肥満と糖尿病』2 (2) 170-174
- 「糖尿病の歴史 糖尿病網膜症の理解へ (1、2)」葛谷健『肥満と糖尿病』2 (3, 4) 142-145, 156-160
- 「糖尿病の歴史 Joslin と糖尿病の予防」葛谷健『肥満と糖尿病』2 (5) 169-172
- 「糖尿病の歴史 糖尿病検診の始まり」葛谷健『肥満と糖尿病』2 (6) 171-175
- 「【急性肝炎の変遷】急性肝炎の疫学的変遷 わが国における輸血後肝炎 予防対策の歴史と現状及び今後の課題」熊谷純子、田中純子、吉澤浩司『肝・胆・脾』47 (5) 633-639
- 「原著を探る Stiff-man 症候群」熊本俊秀『Clinical Neuroscience』21 (12) 1474-1475
- 「【大腸癌の診断と治療 最新の研究動向】大腸癌の歴史の変遷 診断法の歴史の変遷」小島正幸、小西文雄、河村裕、佐々木純一『日本臨床』61 (増刊7大腸癌の診断と治療) 13-16
- 「わが国の結核—明治から今日まで (1) 明治時代の結核」小松良夫『大塚薬報』(587) 61-64
- 「わが国の結核—明治から今日まで (2) 大正時代の結核」小

- 松良夫『大塚薬報』(588) 65-68
「わが国の結核—明治から今日まで (3) 昭和の初めから終戦までの結核」小松良夫『大塚薬報』(590) 63-66
「わが国の結核—明治から今日まで (4) 戦後の結核」小松良夫『大塚薬報』(591) 63-66
「インフルエンザ：疫病としての歴史」酒井シヅ『小児内科』35 (10) 1637-1640
「感染症の歴史」酒井シヅ『日本医師会雑誌』129 (9) KM9-KM12
「わが国における性感染症の歴史」酒井シヅ『臨牀と研究』80 (5) 885-888
「日本における戦前・戦後の吃音研究の動向 吃音研究ハンドブック (1967) を用いて (抄)」崎原秀樹、綾部泰雄『日本コミュニケーション障害学会 29 回学術講演会予稿集』29
「結核統計資料 (その2) 明治初期の結核統計」鳥尾忠男『結核』78 (10) 633-636
「【脳とストレス】 ストレス研究の歴史と今日的解釈」末松弘行『Clinical Neuroscience』21 (9) 984-986
「【D I C の新展開】 D I C の基礎疾患と病態 D I C 歴史と微小循環障害」末松誠『医学のあゆみ』206 (1) 29-32
「【たばこと成人病/生活習慣病】 たばこの歴史」杉山幸比古『成人病と生活習慣病』33 (7) 779-782
「【癌転移】 癌転移概論 癌転移研究の歴史」塚越茂『日本臨床』61 (増刊8 癌転移) 7-10
「日本のHLA研究の歴史と邂逅」能勢義介『日本組織適合性学会誌』9 (3) 231-239
「症候群：冠名医師の業績とその家族に関する歴史的描写 (West & West Syndrome: A historical sketch about the eponymous doctor, his work and his family) (英語)」Pies Norbert J., Beardmore Clive W.『Brain & Development』25 (2) 84-101
「薬害の歴史 キノホルムはスモンの特効薬!？」春本幸子『薬のチェックは命のチェック』(12) 47-48
「肝癌発生論の温故創新 (抄)」樋野興夫『日本消化器集団検診学会雑誌』41 (5) 85
「肝癌発生論の温故創新 (抄)」樋野興夫『日本消化器内視鏡学会雑誌』45 (Suppl.2) 1488
「脳腫瘍病理学におけるパイオニア (PIONEERS IN BRAIN TUMOR PATHOLOGY) (英語) (抄)」Hirano A『Brain Tumor Pathology』20 (Suppl.) 46
「薬害の歴史 スモン (キノホルム中毒被害)」広部景子『薬のチェックは命のチェック』(11) 63-68
「車師前国 (古中国) 人の結核の集団発生 (Outbreak of Tuberculosis in a 2000-Year-Old Chinese Population) (英語)」布施川久恵、王炳華、桜井清彦、長沢和俊、岡安三喜、永倉貢一『感染症学雑誌』77 (3) 146-149
「気道過敏症 研究の歴史 気道炎症と気道過敏」牧野荘平

『喘息』16 (3) 95-98

「日本におけるサルコイドーシス研究の歩み」三上理一郎
『呼吸器科』3 (2) 191-198

「HISTORY 冠攣縮性狭心症 疾患概念の確立 (2)」泰江弘
文『BIO Clinica』18 (10) 935-939

「パーキンソン病の古くて新しい話 (抄)」山本光利
『Pharma Medica』21 (8) 134

24 耳鼻咽喉科史

「最初期のオージオメータ Western Electric Model 2A」石丸
正『耳鼻咽喉科展望』46 (2) 181-184

「最初期のスピーチオージオメータ Western Electric Model
4A & 4C」石丸正『耳鼻咽喉科展望』46 (3) 258-260

「永井耳鼻科について」小野寺栄司『北見医師会会報』72
(15) 15-17

「【耳管から鼓室・乳突蜂巢】耳管・中耳腔の発見」加我君孝
『JOHNS』19 (1) 9-12

「本邦における平衡神経科学研究の流れ (前編)」時田喬
『Equilibrium Research』62 (2) 96-110

「治療の歴史 アレルギー性鼻炎、花粉症に対する免疫療法」
仲野公一『治療学』37 (1) 101-106

「喉頭鏡使用 150 年の歴史余話」渡辺いさむ『耳鼻咽喉科・
頭頸部外科』75 (13) 974-975

25 種痘史

「大坂の除痘館関係主要史料の紹介」古西義麿『医譚』(97)
51-60

「億川家に残されていた大阪の除痘館官許申請資料の紹介
(抄)」古西義麿『医譚』(97) 78

「安中藩主板倉侯の種痘事業 (抄)」清水英一『日本医史学雑
誌』49 (1) 110-111

「明治二十六年年度の種痘済證」飛見立郎『北陸医史』24 (1)
37-41

26 獣医学史

「獣医界の進展と日本獣医師会 (抄)」五十嵐幸男『日本獣医
史学雑誌』(40) 73-75

「日本における犬の飼養と飼養犬種の動向に関する歴史 (抄)」
神里洋『日本獣医史学雑誌』(40) 80-83

「明治時代に清国に派遣された馬医」川西康夫『日本獣医史
学雑誌』(40) 56-64

「明治二年銘 島津随真院の愛犬墓」小佐々学『日本獣医史
学雑誌』(40) 65-69

「馬伝染性貧血研究の歴史 (抄)」小林和夫『日本獣医史学雑
誌』(40) 75-80

「日本鶏病史」佐藤静夫『日本獣医史学雑誌』(40) 1-30

「白牛の里嶺岡今昔」唐仁原景昭『日本獣医史学雑誌』(40)
70-72

「絵巻物にみる中世獣医史料 (8)」中井薫『日本獣医史学雑誌』(40) 87-90

「日蘭交流 400 年と獣医・畜産関係資料について」松尾信一『日本獣医史学雑誌』(40) 31-55

「何故「白馬節会」を「あをうまのせちゑ」と訓むのか」間庭秀信『日本獣医史学雑誌』(40) 91-92

27 書簡

「明治 12 年浅田宗伯より里見玄莊宛の書簡について (抄)」青木富士彌『長野県医学会雑誌』(33) 9

「緒方洪庵と適塾生の書簡」芝哲夫『杏雨』(6) 53-76

「名家書簡抄 (2) 安田竹莊あて江馬榴園・小石元瑞・小石中蔵書簡」多治比郁夫『杏雨』(6) 133-201

「田中元緝宛木村兼葭堂書簡について」田中祐尾『医譚』(96) 13-18

「岡田昌春文庫 (2) 書簡類 (抄)」町泉寿郎、小曾戸洋、花輪壽彦『日本医史学雑誌』49 (1) 22-23

28 書誌学

「泉屋家文書の外科資料蘭文断簡からわかった本木正栄の医書 (抄)」相川忠臣、ハルメン・ボイケルス『日本医史学雑誌』49 (1) 60-61

「『医断』・『斥医断』天命説を中心として」青山廉平『日本東洋医学雑誌』54 (2) 287-303

「玉井忠田著『傷寒論柯則』について (抄)」秋葉哲生『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S171

「古医書『外科細整』の書誌学的考察」飯島裕三『学習院高等科紀要』(1) 17-36

「張家山漢墓漢簡『引書』にみる導と引について (抄)」猪飼祥夫『医譚』(96) 33-35

「シーボルト記念館所蔵 泉屋家文書「オランダ船貿易品関係史料」について」石田千尋『鳴滝紀要』(13) 37-67

「解体新書一言語と概念の変容一」岡田昌信『日本医史学雑誌』49 (2) 321-333

「『漫遊雑記序 (亀井南溟)』をめぐる (抄)」小曾戸明子『医譚』(96) 39-40

「『江戸番通詞江戸逗留中勤方書留』について」片桐一男『鳴滝紀要』(13) 1-12

「宇田川玄真の神経観 (1-3) —『医範堤綱』の文献学的研究—」クレインス・フレデリック『科学医学資料研究』31 (1-3) 207-226, 239-257, 276-311

「古医書のはなし 馬王堆漢墓医書」小曾戸洋『伝統医学』6 (2) 71

「宋版『備急総効方 (備全総効方)』の書誌研究」小曾戸洋『杏雨』(6) 202-221

「『名医彙論』多紀元堅の知られざる編著 (抄)」小曾戸洋、友部和弘、町泉寿郎、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S171

- 「橋本龍雲家伝の古医書類 (抄)」小曾戸洋、町泉寿郎、花輪壽彦『日本医史学雑誌』49 (1) 18-19
- 「『大同医式』について (抄)」後藤志朗『神奈川医学会雑誌』30 (1) 91
- 「『黄帝内经明堂類成』と『甲乙経』の比較 (抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』49 (1) 62-63
- 「明石為嗣著「X脚之治験」(明治22年)について (抄)」小林晶、奥村武『日本医史学雑誌』49 (1) 92-93
- 「今田見信「日本歯科学性格研究資料類纂」(昭和16年刊行)について (抄)」渋谷鉦、落合俊輔、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 82-83
- 「『古事記』『日本書紀』の中の医学」白崎昭一郎『北陸医史』24 (1) 17-25
- 「ランシマン『シチリアの晩禱』」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(500) 34-35
- 「『医学天正記』について (4)」高島文一『啓迪』(21) 1-8
- 「『素問攷注』に引用される『解体発蒙』についての一考察 (抄)」竹内尚『日本医史学雑誌』49 (1) 76-77
- 「三輪東朔の知られざる著書『妙薬集』(抄)」友部和弘、小曾戸洋、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S170
- 「岡田昌春文庫 (1) 書籍類 (抄)」友部和弘、町泉寿郎、小曾戸洋、花輪壽彦『日本医史学雑誌』49 (1) 20-21
- 「『脈経』における版本の比較—『脈経』版本字句異同調査

- 報告 (抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』49 (1) 80-81
- 「森中虚自筆本『意仲玄奥』について (抄)」長野仁、小曾戸洋、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S170
- 「『和剂局方』痰飲篇の検討」中村輝子、高野奈緒、遠藤次郎『薬史学雑誌』38 (2) 144-150
- 「『和剂局方』に見られる製剤の特徴」中村輝子、宮本浩和、遠藤次郎『薬史学雑誌』38 (2) 185-192
- 「室町～江戸時代初期の金瘡書、南蛮流膏薬書、『春林軒膏方便覧』に見られる軟膏の色 (抄)」中村輝子、遠藤次郎『日本医史学雑誌』49 (1) 24-25
- 「『他者』の視点でみる『病草紙』(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 56
- 「関場不二彦の「西医学東漸史話」著述の構想の基礎になったと思われる「傷医新書」について」秦温信『北辰』(5) 12-17
- 「野呂元丈著「狂犬咬傷治方」の全文について」秦温信、松岡伸一、関谷千尋、佐野文男、竹田眞、島田保久、鮫島夏樹、桜井謙介『北辰』(5) 18-27
- 「貝原益軒の最後の著書『慎思録』について (抄)」原敬二郎『日本医史学雑誌』49 (1) 98-99
- 「外科資料蘭文断簡 その二 本木正栄の医書」ボイケルス・ハルメン、相川忠臣『鳴鴻紀要』(13) 23-35
- 「医療薬学歴史文庫」堀岡正義『薬史学雑誌』38 (1) 117-118

- 「養生訓の今日的解釈(抄)」本田浩仁『肝臓』44(Suppl.2) A375
 「原病學各論 亞爾度聯斯の講義録(第19-22編)」松陰宏、
 近藤陽一、松陰崇、松陰金子『三重県立看護大学紀要』
 7,21-29,31-43,45-54,55-64
 「魯迅のエッセイ『皇漢医学』について(抄)」真柳誠『日
 本医史学雑誌』49(1)40-41
 「『鍼灸拔翠』について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』
 49(1)88-89
 「明治時代に発行された碩田医報(抄)」山之内外一『日本
 医史学雑誌』49(1)100-101
 「『東医宝鑑』の研究—鍼灸篇について(抄)」吉田和裕『日
 本医史学雑誌』49(1)90-91

29 小児科史

- 「小児外科の過去と現在」秋山洋『小児外科』35(8)998-999
 「child abuse その歴史的文献の紹介(抄)」宇治雅代、下地
 明友『こころと文化』2(2)211
 「子育て文化の変遷と子どもの精神療法(抄)」川畑友二、
 松岡祐加『日本児童青年精神医学会44回総会抄録集』124
 「昭和初期の母子保健をめぐる展覧会 三田谷治療教育院の
 実践を通して」駒松仁子『国立看護大学校研究紀要』2
 (1)69-79
 「台湾における小児神経学の発達史(抄)(Development
 History of the Child Neurology in Taiwan)(英語)」Shen

Yu-zen『脳と発達』35(Suppl.)S67-S68

30 神経学史

- 「原著を探る 家族性アミロイドポリニューロパチー」荒木
 淑郎『Clinical Neuroscience』21(1)108-109
 「原点に帰って原典を読む 症例を中心に 単一精神病論
 (Guislain-Zeller-Griesinger)への反証 Ludwig Snell(1817
 -1892)による精神障害の一次形態(初発型)としてのモ
 ノマニー症例八例」池村義明『精神科治療学』18(6)
 735-742
 「原点に帰って原典を読む 症例を中心に Alzheimer病
 (praesenile Demenz)の原点と原典(その2)」池村義明
 『精神科治療学』18(1)109-116
 「わが国における“神経衰弱”の発展と衰退 歴史的検討
 (抄)」北中淳子『精神神経学雑誌』105(12)1502
 「運動ニューロン疾患の自律神経障害に関する早期の記述」
 田村直俊、島津邦男『自律神経』40(4)392-398
 「歌う失語症患者」古川哲雄『神経内科』58(4)435
 「原典・古典の紹介 Cotard症候群」古川哲雄『神経内科』
 58(1)93-96
 「原典・古典の紹介 神経性食欲不振症」古川哲雄『神経内
 科』58(2)212-216
 「原典・古典の紹介 Wernicke-Korsakoff症候群」古川哲雄
 『神経内科』58(3)330-335

「原典・古典の紹介 De Clerambault 症候群」古川哲雄
『神経内科』59 (3) 310-314

「原典・古典の紹介 他人の手徴候」古川哲雄『神経内科』
59 (5) 552-557

「臨床メモ 不思議の国のアリス症候群」古川哲雄『神経内
科』59 (5) 571-572

31 診断学史

「【超音波のこれまでとこれから】BモードUS登場から35
年超音波の歴史と展望」秋本伸『新医療』30 (5) 87-89

「わが国の骨・関節のX線診断の草分け」片山仁『日独医報』
48 (2) 279-282

「基礎心臓超音波診断 (Fundamental of Cardiac Ultrasonud)
(英語)」Carney Dennis K.『体外循環技術』30 (3) 200-201

「【遠隔画像診断の現状と将来】遠隔画像診断の歴史的背景」
佐藤俊彦『映像情報』35 (5) 348-352

「【超音波のこれまでとこれから】心臓超音波法の歴史と今
後の展望」林輝美『新医療』30 (5) 82-84

「19世紀における血圧測定 of 歴史 (抄)」藤倉一郎『日本医
史学雑誌』49 (1) 120-121

32 整形外科史

「整形外科の歴史 68 19世紀後期から20世紀初期へ ドイツ
語圏諸国の整形外科の近代化 ドイツの外科の整形外科近

代化への寄与 (2)」蒲原宏『整形外科看護』8 (1) 94-99

「整形外科の歴史 69-70 19世紀後期から20世紀初期へ
ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 スイス学派の成立
スイスの外科と内科の整形外科への寄与①-②」蒲原宏
『整形外科看護』8 (2-3) 190-193, 288-293

「整形外科の歴史 71 19世紀後期から20世紀初期・中期へ
ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 (2) スイス外科医たち
のその他の貢献」蒲原宏『整形外科看護』8 (4) 386-391

「整形外科の歴史 72-74 19世紀後期から20世紀中期へ
ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 スイス学派の系譜
と業績」蒲原宏『整形外科看護』8 (5-7) 478-483, 582-586,
680-682

「整形外科の歴史 75 19世紀後期から20世紀中期へ フラ
ンス語圏諸国の整形外科の近代化 リヨン学派の成立」蒲
原宏『整形外科看護』8 (9) 868-871

「整形外科の歴史 76 19世紀後期から20世紀中期へ フラ
ンス語圏諸国の整形外科の近代化 リヨン学派オリエルの
後継者たち」蒲原宏『整形外科看護』8 (10) 968-971

「整形外科の歴史 77 19世紀後期から20世紀中期へ フラ
ンス語圏諸国の整形外科の近代化 (3) バリ学派の成立
小児病院の整形外科」蒲原宏『整形外科看護』8 (11)
1074-1078

「整形外科の歴史 78 19世紀後期から20世紀中期へ フラ
ンス語圏諸国の整形外科の近代化 バリ学派の成立ーコシ

- ヤン病院の整形外科」蒲原宏『整形外科看護』8 (12) 1162-1165
- 「日本近代整形外科の成立とその学系 (抄)」蒲原宏『中部日本整形外科災害外科学会雑誌』46 (春季学会) 2
- 「人工関節 40 年の進歩」黒瀬靖郎『竹林』24 (1) 3-4

33 精神医学史

- 「作業治療について (下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(57) 23-30
- 「京都市社会課『京都市に於ける精神病及其の收容施設に関する調査』(下の1、完)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(58-59) 31-39,31-36
- 「島村鼎甫訳『生理啓発』(2、3)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(58-59) 11-20,19-30
- 「島村鼎甫訳『生理初蒙』卷之十一神経系越歴気之論 (1)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(57) 1-6
- 「本間棗軒『内科秘録』(1、2)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(58-59) 1-10,1-18
- 「比較文化精神療法 歴史を超える森田療法」宇佐晋一『精神神経学雑誌』105 (5) 589-592
- 「【心理療法の概念を整理する】森田療法の歴史の変遷」牛島定信『精神療法』29 (1) 61-69
- 「精神医学関連学会歴史と最近の動向 遊戯療法の起源・歴史と学会史」大野弘之『最新精神医学』8 (4) 381-388
- 「国民優生法・優生保護法と精神科医」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(57) 32-37
- 「戦後の精神科医療の動向—海図下描きの試み」岡田靖雄『精神医療』(32) 9-25
- 「戦争と精神科医療、精神医学、そして精神医学者」岡田靖雄『15年戦争と日本医学医療研究会会誌』3 (2) 8-10
- 「断種法史上の人びと (その6) —成田勝郎・付 菊池甚一— (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』49 (2) 381-384
- 「『日本精神科医療史』をかきあげて (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』49 (1) 50-51
- 「江戸時代の文献にみる精神障害者 (抄)」金川英雄『日本社会精神医学会雑誌』12 (1) 123
- 「【心理療法の概念を整理する】カウンセリングと心理療法」河合俊雄『精神療法』29 (1) 8-13
- 「内観療法の国際化にむけて 内観療法の国際化の現状」川原隆造『精神神経学雑誌』105 (8) 988-993
- 「知の体系としての森田療法 森田の病跡との関連から」北西憲二『精神療法』29 (5) 576-584
- 「京都市に於ける精神病及其の收容施設に関する調査 (中)」京都市社会局『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(57) 7-22
- 「【半世紀の軌跡と展望】メンタルヘルス：過去・現在・未来」黒木俊秀『教育と医学』51 (6) 564-567
- 「精神医学史探訪 スパルタ王クレオメネスの自殺」酒井明

- 夫『精神科』3 (4) 394-396
- 「精神医学史探訪 (Ⅱ) リチャード二世の病?」酒井明夫
『精神科』3 (6) 566-569
- 「文化と時間」酒井明夫『こころと文化』2 (2) 197-198
- 「ある精神障害・当事者のライフヒストリーとその解釈 (第1部) 地域生活を可能とした要因及び個人における歴史と病いとの関係」田中美恵子『東京女子医科大学看護学部紀要』5,1-15
- 「精神医学の現在と進歩 日本の精神科領域における心理職の歴史及び現状・進歩」津川律子『CAMPUS HEALTH』40 (1) 116-120
- 「日本精神医療史と触法精神障害者」中谷陽二『精神神経学雑誌』105 (2) 194-199
- 「対人恐怖症・social phobiaの歴史的展開と今日の問題」鍋田恭孝『臨床精神薬理』6 (10) 1267-1275
- 「産後精神障害の諸原因 Marceによる19世紀症例の記述の再読とその現代的意味」西園文『日仏医学』27 (1) 33-42
- 「虚構としての岩倉村」橋本明『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(58) 21-30
- 「第二次世界大戦以前における日本の精神医療の評判 (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』49 (1) 54-55
- 「日本における精神医学の歴史 前時代の観念的变化 (英語) (The History of Psychiatry in Japan: Notional Changes before the Modern Ages)」Hayashi Yoshiro『岐阜大学医学部紀要』51 (4) 245-248
- 「日本における精神障害者の責任能力と監護に関する法制度 古代から近代まで」昼田源四郎『精神神経学雑誌』105 (2) 187-193
- 「なぜ精神医学史なのか? (英語) (Why a History of Psychiatry?)」Hoff Paul『精神神経学雑誌』105 (5) 505-513
- 「【精神科臨床のための必読100文献】Zilboorg, G A History of Medical Psychology Norton, New York, 1941 (神谷美恵子訳: 医学的心理学史、みすず書房、東京、1958)」八木剛平『こころの臨床ア・ラ・カルト』22 (増刊) 7-8
- 「近代日本における精神疾患の治療史」八木剛平『精神神経学雑誌』105 (2) 185-186
- 「原典・古典の紹介 Kraepelin E. Ueber Erinnerungsfalschungen. Arch Psychiatr Nervenkr 1886;17: 830-843, 1887;18: 199-239, 396-436 記憶のなかの幽霊 (ファントム)」山岸洋『精神科』2 (1) 77-80
- 「原典・古典の紹介 Blankenburg W. Daseinsanalytische Studie ueber einen Fall paranoider Schizophrenie. Schw Arch Neurol Psychiatr 1958;81:9-105 慢性妄想患者にとっての真なる世界」山岸洋、村井俊哉『精神科』2 (2) 180-182
- 「【わが国における精神医学・医療の歴史と展望】日本精神神経学会100年の軌跡 その改革と苦闘」山口成良『精神神経学雑誌』105 (6) 711-716
- 「精神医学・医療の今昔」山下格『精神科臨床サービス』3

(1-3) 134-138, 246-250, 366 - 370

35 西洋医学史

「『解体新書』の原著、1734年（オランダ語原著刊行年）までに刊行されたドイツ語版、ラテン語版、フランス語版『解剖学表』の現物調査、速報（抄）」石田純郎『医譚』（97）78-79

「カイロ医史跡散歩（上）」石田純郎『日本医事新報』（4143）47-49

「世界医学史の旅1 「ターヘル・アナトミア」の街グダンスク散歩」石田純郎『ミクروسコピア』20（1）52-55

「世界医学史の旅2 メルボルン医史跡散歩」石田純郎『ミクロスコピア』20（2）146-149

「世界医学史の旅3 金属活字印刷史紀行 その1「もう一つの教科書問題」とゲーテンベルク博物館」石田純郎『ミクロスコピア』20（3）222-224

「世界医学史の旅4 金属活字印刷史紀行 その2 韓国の博物館群」石田純郎『ミクロスコピア』20（4）312-314

「中央ヨーロッパの薬局の装飾と古代ギリシャ神話（抄）」石田純郎『薬史学雑誌』38（2）218

「ロイヤルメディカルソサイアティ 1737 学と職と、エディンバラの例（抄）」栗本宗治『医譚』（97）74-75

「欧米における自然医学の歴史 サレルノ医学、アラビア医学」中島文保『マニピュレーション』18（2）111-117

「欧米における自然医学の歴史 パラケルススとシデナム」中島文保『マニピュレーション』18（3）86-91

「アルプスを越えた医師たち ルネッサンス期までの南北医学交流史（4-11）」濱中淑彦『名古屋医報』（1253, 1255, 1258-1263）15, 17, 37, 51, 33, 11, 15, 24

「ルネッサンス期における「ホームステイ交換医学留学生」の旅と日常（2）—フェーリックス・プラッターの「日記」より—」濱中淑彦『科学医学資料研究』31（1）226-238

「医学史のすすめ 南仏の古応邑 Montpellier の医学史散策」濱中淑彦『名古屋医報』（1252）17-18

「フランスの代替医療 ホメオパシー（homeopathie）治療の始まりとサン・ジャック病院」百々雅子『看護教育』44（10）890-891

37 生理学史

「腎臓の探究史 糸球体濾過と19世紀生理学」坂井建雄『腎臓』25（2）187-192

「腎臓の探究史 ボーマンの糸球体研究」坂井建雄『腎臓』25（3）245-251

「セクレチン、100年後（Secretin, one hundred years later）（英語）（抄）」Chey William Y.『腎臓』18（3）369-370

「動物の生理学 クロニクル 血圧調節と高血圧 脚気と栄養学の始まり」西田利穂『SA Medicine』5（1）87-93

「動物の生理学 クロニクル 血圧調節と高血圧 ビタミン

- の発見と血圧」西田利穂『SA Medicine』5 (2) 96-102
 「動物の生理学 クロニクル 血圧調節と高血圧 田原淳の
 刺激伝導系」西田利穂『SA Medicine』5 (3) 93-99
 「動物の生理学 クロニクル 血圧調節と高血圧 PQRST
 の謎」西田利穂『SA Medicine』5 (4) 64-70
 「動物の生理学 クロニクル 血圧調節と高血圧 創傷治療
 と心臓外科の夜明け」西田利穂『SA Medicine』5 (6)
 64-70
 「【間接熱量の測定】間接熱量測定の世界史」真島吉也『栄
 養—評価と治療』20 (4) 369-372

38 地方史

- 「明治期における揖斐川沿い農村（塩喰村、大吉新田村）の
 死亡原因（疾病）について（抄）」荒牧元『日本農村医学
 会雑誌』52 (3) 348
 「豊前・豊後の洋学・医学 一六世紀、府内のアルメイダの
 病院と同時期のスペインの病院について（抄）」石田純郎
 『医譚』(97) 84-85
 「豊前・豊後の洋学・医学 中津藩山辺篤雅（文伯）と『産
 育編』における Smellie 産科鉗子の紹介（抄）」石原力
 『医譚』(97) 88-89
 「中津藩医山辺文伯と産育編について（抄）」石原力『日本
 医史学雑誌』49 (1) 102-103
 「ブラフホスピタル（ヨコハマ山手病院）の起源とその後の

- 歩み（抄）」井出研『神奈川医学会雑誌』30 (2) 254
 「古典あれこれ 横浜山手外国人墓地に眠る人々1 わが国
 の医療に貢献した外国人医師」犬山征夫『JOHNS』19 (6)
 876-880
 「古典あれこれ 横浜山手外国人墓地に眠る人々2 日本女
 性の教育に捧げた生涯」犬山征夫『JOHNS』19 (7) 1000-
 1007
 「明治期神奈川県における産婆の規則（抄）」小川景子『母性
 衛生』44 (3) 216
 「明治期神奈川県における産婆養成 十全医院の場合（抄）」
 小川景子『母性衛生』44 (3) 216
 「福岡の蘭学（医学）（抄）」奥村武『日本医史学雑誌』49 (1)
 30-31
 「御給帳からみた松江藩の藩医」梶谷光弘『古代文化研究』
 (11) 39-62
 「中津藩の洋学（抄）」川島真人『医譚』(97) 83-84
 「中津藩蘭学の系譜（抄）」川島真人『日本医史学雑誌』49
 (1) 32-33
 「昭和30～40年代における岩手県の母子保健活動に関する考察
 （抄）」斎藤恵梨子、藤村由希子『母性衛生』44 (3) 217
 「横浜山手外人墓地に眠る10人の外国人医師達（抄）」正山
 堯『神奈川医学会雑誌』30 (2) 250-253
 「豊前・豊後の洋学・医学 豊前・豊後の芝蘭堂門人たち
 （抄）」鈴木幸彦『医譚』(97) 86

- 「院内銀山お抱え医師門屋養安の長生き術 秋田の食文化に
ふれて」茶谷十六『日本病院会雑誌』50 (9) 1349-1363
- 「鎌倉市から出土した中世人骨の受傷痕 (抄)」長岡朋人『聖
マリアンナ医科大学雑誌』31 (3) 161
- 「東海道医史の旅 神奈川県編⑥藤沢の巻 梅毒、らい、種
痘」中西淳朗『月刊保団連』(772) 54-55
- 「東海道医史の旅 神奈川県編⑦茅ヶ崎の巻 高田畔安と南
湖院」中西淳朗『月刊保団連』(776) 60-61
- 「東海道医史の旅 神奈川県編⑧平塚の巻 杏雲堂平塚病院」
中西淳朗『月刊保団連』(777) 44-45
- 「東海道医史の旅 神奈川県編⑨大磯の巻 松本順と海水浴」
中西淳朗『月刊保団連』(782) 34-35
- 「東海道医史の旅 神奈川県編⑩小田原の巻 ういろうと漢
方医」中西淳朗『月刊保団連』(785) 32-33
- 「東海道医史の旅 神奈川県編 番外 中居屋とらい」中西
淳朗『月刊保団連』(786) 32-33
- 「西南戦役と神奈川県下の官修墓地 (抄)」中西淳朗『日本医
史学雑誌』49 (4) 672-673
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 82 久留米藩に西洋医学をも
たらした蘭方医 工藤謙同」中山茂春『福岡県医報』(12)
12-13
- 「豊前・豊後の洋学・医学 麻田剛立消長法の発想 (抄)」中
山茂『医譚』(97) 87-88
- 「豊前・豊後の洋学・医学 帆足万里と難波抱節・経直父子

- との交流 (抄)」中山沃『医譚』(97) 90-92
- 『日本杏林要覧』(明治42年刊)に掲載された九州八県下の
医師・歯科医師人名 (抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』
49 (1) 128-129
- 「越中高岡と蘭方医学」正橋剛二『北陸医史』24 (1) 47-52
- 「江戸時代における青森県の医療が全国に及ぼした影響 と
くに津軽の阿片を中心として」松木明知『日本整形外科学
会雑誌』77 (7) 310-317
- 「愛知の結核医療史」山田英雄『名古屋医史談話会会報』(33)
1-5
- 「愛知の結核医療史補遺 (抄)」山田英雄、山内一信、青木國
雄『日本医史学雑誌』49 (1) 140-141
- 「維新前後甲賀郡における医師と医師結社」米田実『公立甲
賀病院紀要』6,197-200

39 治療史

- 「12世紀末のクメール文化圏の施療院 (抄)」石田純郎『日
本医史学雑誌』49 (1) 36-37
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史
腹膜透析の実用化に向けて」太田和夫『透析ケア』9 (1)
86-89
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史
連続的灌流と間欠的灌流」太田和夫『透析ケア』9 (2)
194-197

- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 マックスウェルの活躍」太田和夫『透析ケア』9 (3) 296-298
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 もう一人の男」太田和夫『透析ケア』9 (4) 354-356
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』9 (5) 495-497
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 腹膜灌流の登場」太田和夫『透析ケア』9 (6) 596-599
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 ダイアライザーの改良・工夫」太田和夫『透析ケア』9 (7) 654-657
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 始まった人工腎臓の評価」太田和夫『透析ケア』9 (8) 797-800
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 ダイアライザーの商品化」太田和夫『透析ケア』9 (9) 890-893
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 日本透析史の幕開け」太田和夫『透析ケア』9 (10) 994-997
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 内科医の取り組み」太田和夫『透析ケア』9 (11) 1102-1106
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』9 (12) 1214-1217
- 「【血液疾患研究の進歩 歴史的検証】急性前骨髄球性白血病 (解説/特集)」大野竜三『血液フロンティア』13 (10) 1347-1355
- 「わが国の精神科作業療法の歩み 作業療法士誕生まで」加藤伸勝『作業の科学』449-73
- 「わが国における人工肛門の起源」川満富裕『日本ストーマリハビリテーション学会誌』19 (1) 3-10
- 「沖縄県における乱切・瀉血療法 記憶していた患者さんがいた」菊池一郎『皮膚科の臨床』45 (4) 435-437
- 「化学療法の黎明期」北里一郎『日本化学療法学会雑誌』51 (10) 615-620
- 「【心筋虚血 多様化する診断法がもたらす可能性】治療の歴史 PCIの変遷」木村剛『治療学』37 (2) 202-207
- 「理学療法 事始めからの展開」駒沢治夫『理学療法学』30 (3) 65-68
- 「音楽と生体の歴史 今日の音楽療法 わが国における音楽療法研究」酒井シヅ『KISSEIKUR』21 (1) 17
- 「交流分析 (TA) と私 日本におけるTA発展の歴史の中の私」末松弘行『交流分析研究』28 (2) 110-113
- 「【低侵襲性治療として期待される凍結治療の展望】凍結療法とは何か? その歴史と実際と展望」隅田幸男『INNERVISION』18 (5) 4-9
- 「Respiratory Care Library 呼吸療法の歴史 近代呼吸管理法の創始」諏訪邦夫『呼吸器ケア』1 (3) 269-272
- 「Respiratory Care Library 呼吸療法の歴史 呼吸管理に関連

- する法則の発見」諏訪邦夫『呼吸器ケア』1 (5) 500-503
「Respiratory Care Library 呼吸療法の歴史 酸素の発見と解釈への道」諏訪邦夫『呼吸器ケア』1 (6) 607-610
「治療の歴史 人工呼吸とそのパターン」諏訪邦夫『治療学』37 (11) 1217-1220
「治療の歴史 脳梗塞に対する抗血栓療法」棚橋紀夫『治療学』37 (9) 987-994
「ブロー液の歴史と使用法」寺山吉彦『手稲溪仁会病院医学雑誌』6 (1) 5-8
「お灸の歴史 科学史の視点から」東郷俊宏『全日本鍼灸学会雑誌』53 (4) 510-525
「お灸の歴史 科学史の立場から (抄)」東郷俊宏『全日本鍼灸学会雑誌』53 (3) 291
「輸血の発展史と現状 日本における輸血 (輸血事業を含む) の発展と現状 わが国の輸血学小史を含む」遠山博『日本輸血学会雑誌 日本輸血学会認定制度指定カリキュラム』14-17
「輸血の発展史と現状 輸血の歴史」遠山博『日本輸血学会雑誌 日本輸血学会認定制度指定カリキュラム』11-14
「原典・古典の再発見 「短波治療の基礎」物理—技術—適応症」奈良圭之輔、岩井信市、横地章生、小口勝司『日本医史学雑誌』49 (4) 661-668
「治療の歴史 プラジカンテルがもたらしたもの」西山利正『治療学』37 (6) 668-671
「日本における人工心臓開発の歴史 (抄)」仁田新一『人工臓器』32 (2) S1
「治療の歴史 Cost-effectiveness からみた逆流性食道炎治療」羽生泰樹、池浦司、浦井俊二、塩せいじ、河村卓二、早雲孝信、川井啓市『治療学』37 (5) 545-548
「脳低温療法の現状と今後の展開 脳低温療法の歴史と現状」林成之『ICUとCCU』27 (8) 725-731
「【血液疾患研究の進歩 歴史的検証】多発性骨髄腫の治療の進歩 (解説/特集)」半田博、村上博和『血液フロンティア』13 (10) 1377-1390
「【AED (自動体外式除細動器) 社会に広がる高度な医療】自動除細動器AEDの歴史と活用」福井道彦『救急・集中治療』15 (7) 703-710
「郷土史家 寺石正路の燈下与兒談における脚気も漢洋治療 (抄)」松岡尚則、荒木京二郎、柴岡義人『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S169
「【人工呼吸管理の最近の進歩】人工呼吸の歴史を振り返って」三嶋理晃『日本胸部臨床』62 (4) 289-297
「治療の歴史 わが国における深在性真菌症の治療」山口英世『治療学』37 (3) 307-310
「人類の智慧 疼痛克服の歴史 モルヒネの歴史」横田敏勝『Arthritis—運動器疾患と炎症—』1 (1) 62-65
「『医学天正記』に見られる芳春院殿 (前田利家公正室まつ) 診療記録に関する考察」吉澤千絵子、御影雅幸、多留淳

文『薬史学雑誌』38 (1) 82-92

40 伝記

「第四高等学校医学部第1回卒業生 赤祖父龍太郎について」赤祖父一知『北陸医史』24 (1) 1-16

「歴史に残る斯界の人々 其の九 赤羽幸兵衛」『医道の日本』62 (9) 口絵

「新井白石の死因」杉浦守邦『医譚』(96) 1-12

「飯沼慾斎研究の思い出 I」遠藤正治『慾斎研究会だより』(100) 2-8

「石神亨の生涯 北里柴三郎所長の助手第1号」田口文章『日本医事新報』(4118) 41-43

「歴史に残る斯界の人々 其の7 井上恵理」『医道の日本』62 (7) 口絵

「日本の血液学 近代血液学の源流 入沢達吉」柴田昭『血液フロンティア』13 (5) 672-677

「フランス人医師が見た明治初期の日本 私立新潟病院初代外国人医学教師ヴィダルの旅行記「新潟から江戸へ(日本)」」須長泰一『日本医史学雑誌』49 (3) 501-558

「先達医家の肖像 <110> Carl Reinhold August Wunderlich (1815-1877)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(386) 表3

「生化学研究の巨人たち 細胞信号解明の先駆者、江橋節郎(上)」丸山工作『蛋白・核酸・酵素』48 (7) 857-866

「医史学者・思想家 ペドロ・ライン・エントラルゴ」泉彪

之助『日本医史学雑誌』49 (3) 493-500

「神奈川県権令・大江卓の養生布告(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』49 (1) 136-137

「蔵書から見た大塚敬節の学問と人」町泉寿郎『日本東洋医学雑誌』54 (4) 749-762

「母里藩の医者大森不明堂三楽の生涯—出雲国への華岡流医術の伝播—」梶谷光弘『山陰史談』(31) 41-86

「億川攝三先生・50年祭」飯塚修三『医譚』(96) 27-28

「歴史に残る斯界の人々 其の11 奥村三策」『医道の日本』62 (11) 口絵

「小野蘭山の虚と実—幕府医学館時代の採薬と薬園—」遠藤正治『歴史書通信』(148) 2-4

「精神疾患患者・遺伝性疾患患者に対するナチスの「安楽死」作戦とミュンスター司教フォン・ガーレン」泉彪之助『日本医史学雑誌』49 (2) 277-319

「貝原益軒(1630~1714)の紹介(抄)」木村専太郎『日本医史学雑誌』49 (1) 96-97

「鹿子木敏範先生を悼む」岡村良一『日本医史学雑誌』49 (3) 559-561

「亀井南冥 その人となりと業績」寺師睦宗『日本東洋医学雑誌』54 (6) 1023-1033

「亀井南冥 その人となりと業績(抄)」寺師睦宗『日本東洋医学雑誌』54 (別冊) S74

「亀井南冥—その人となりと業績—(抄)」寺師睦宗『漢方

- 「医業新聞」(324) 2-3
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 北里柴三郎「抗毒素の発見と血清療法」(抄)」中瀬安清『日本医学会総会 26 回会誌』(3) 319
- 「世界に誇る日本の医学研究者①北里柴三郎—抗毒素の発見と血清療法」中瀬安清『医学のあゆみ』207 (2) 98-102
- 「世界の細菌学史に残る日本人の足跡 世界の細菌学者 北里柴三郎老先生の研究 (抄)」中瀬安清『日本細菌学雑誌』58 (1) 69
- 「闘う医魂 北里柴三郎」篠田達明『日本内科学会雑誌』92 (9) 1751-1756
- 「闘う医魂 北里柴三郎 (抄)」篠田達明『日本内科学会雑誌』92 (Suppl.) 83
- 「北里柴三郎記念室 北里柴三郎生誕 150 年に因んで」中瀬安清『医学図書館』50 (4) 378-381
- 「木村兼葭堂 近世大阪の知の巨人」井上智勝『大塚薬報』(591) 4-17
- 「久保記念館と久保猪之吉先生の思い (抄)」曾田豊二『日本医史学雑誌』49 (1) 94-95
- 「コッホのまな弟子、リディア・ラビノウイッチ・ケンパー教授 (抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』49 (1) 114-115
- 「傷寒学を研究する先駆—高若訥 (抄)」郭秀梅、加藤久幸『日本医史学雑誌』49 (1) 66-67
- 「高血圧研究の偉人 Harry Goldblatt」荒川規矩男『血圧』10 (5) 530-535
- 「医のことは 衛生ハ人間万機ノ基本ニシテ一國ノ休戚一家盛衰ノ縁ル所タリ (著者註/「休戚」とは喜びと憂い) 後藤新平」荒井保男『新薬と治療』53 (1) 23-25
- 「後藤新平研究 IX 基本発想などの中間まとめ」小野寺伸夫『医学史研究』(83) 14-19
- 「日本大学歯学部創設者佐藤運雄先生の医術・歯科医術開業免状並びに関係書類について」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、若松佳子、小室歳信、佐藤孜『日本歯科医史学会々誌』25 (1) 6-11
- 「帯広開業 1 号 佐藤兵一郎医師」伊藤保蔵『北辰』(5) 28-31
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵、1823 年シーボルト関係書簡の翻刻並びに翻訳 (1)」宮坂正英、ノイマンベルント、石川光庸『鳴滝紀要』(13) 69-125
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関係文書「長崎近郊の鳴滝にある私の住宅」」石山禎一、徳永宏『鳴滝紀要』(13) 127-143
- 「シーボルト顕彰記念事業略史 (抄)」寺畑喜朔『医譚』(97) 97
- 「シーボルトの医学は余技にすぎない 祖父が会った幕末のシーボルト」三浦義彰『医学のあゆみ』207 (3) 192-194
- 「先達医家の肖像 <108> Edward Jenner (1749-1823)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(384) 表三
- 「朝鮮のハンセン病医療に従事した志賀潔 (抄)」魯紅梅

- 『日本医史学雑誌』49 (1) 42-43
- 「James Marion Sims (1813-1883) — 19世紀アメリカにおける産科学の先駆者—」 酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』16 (1) 28
- 「歴史に残る斯界の人々 其の12 代田文誌」『医道の日本』62 (13) 口絵
- 「循環器疾患研究を支えた人々 新谷博一」片桐敬『Cardiac Practice』14 (1) 94-95
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (97) 人の巻 第三章芙蓉時代 星明り (4)」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (3) 25-27
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (98) 人の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (4) 21-22
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (99) 人の巻 第三章芙蓉時代」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (5) 18-21
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (101) 傍説」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (7) 25-29
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (102) 人の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (8) 28-30
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (103) 人の巻」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (10) 21-22
- 「醫考 鍼聖 杉山和一伝 (104) 人の巻 芙蓉時代」斎藤末一郎『経絡鍼療』35 (11) 32-35
- 「高血圧研究の偉人 Leonard T.Skeggs」荒川規矩男『血圧』10 (9) 1057-1061
- 「関寛斎と順天堂」石井昌三『順天堂医学』49 (2) 252-254
- 「西洋医学所添田玄春の長崎留学」深瀬泰旦『洋学』1125-50
- 「江戸幕府寄合医師添田玄春の医学と医療活動 (抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』49 (2) 384-385
- 「高血圧研究の偉人 Robert Tigerstedt」日和田邦夫『血圧』10 (2) 195-197
- 「九州の生んだビタミン学の父、高木兼寛：その事績と研究の発展 (抄)」糸川嘉則『ビタミン』77 (1) 46-47
- 「先達医家の肖像 <107> 高木兼寛 (1849-1920)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(383) 表3
- 「明治時代 (120年前) P O S医療の精神に生きた医師高木兼寛博士について」松岡順之介『日本 P O S医療学会雑誌』8 (1) 116-119
- 「統計と医学的な事実—高木兼寛及び脚気論 (抄)」アレキサンダー・ベイ、花輪壽彦『日本医史学雑誌』49 (1) 142-143
- 「【高木兼寛のメッセージ】高木兼寛 人と業績」熊谷勲『薬の知識』54 (2) 39-44
- 「世界に誇る日本の医学研究者⑥高峰讓吉—アドレナリン発見」菅野富夫『医学のあゆみ』207 (2) 121-125
- 「歴史に残る斯界の人々 其の6 辰井文隆」『医道の日本』62 (6) 口絵
- 「竜野一雄研究序説 (1)」中川良隆『東静漢方研究室』26 (1) 45-54

- 「心エコー面白史 偉人・才人・変人論 心エコー図における東洋の獅子達 東北の雄 田中元直 坂本二哉『心エコー』4 (4) 386-392
- 「田原淳 (1873-1952) 先生についての疑問 (抄)」蒲原宏『医譚』(97) 93-95
- 「『世界の心臓学を拓いた田原淳の生涯』—須磨幸蔵・島田宗洋・島田達生 編著を読んで」菅野富夫『ミクロスコピア』20 (3) 256
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 田原淳「心臓の刺激伝導系の発見」(抄)」須磨幸蔵『日本医学会総会 26 回会誌』(3) 322
- 「世界に誇る日本の医学研究者④田原淳—心臓の刺激伝導系の発見」須磨幸蔵『医学のあゆみ』207 (2) 111-115
- 「田原淳幻視—船出から 100 年—」須磨幸蔵『ミクロスコピア』20 (2) 92-93
- 「骨盤学の確立により産科史上に新しい光を与えた Hendrik van Deventer (1651-1724)」酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』16 (2) 28-29
- 「徳川吉宗と洋楽 (その 2、医学・薬学) —オランダ商館史料を通して—」今村英明『洋学史研究』(20) 25-74
- 「19 世紀英国国教会の動向とナイチンゲール (抄)」平尾真智子『神奈川医学会雑誌』30 (2) 250
- 「未出版の著書『思索への示唆』(1860) にみるナイチンゲールの宗教観」平尾真智子『第 54 回キリスト教史学会

研究発表要旨集』42

- 「ナイチンゲールの『看護覚え書』への情熱—草稿から未出版の第 4 版までの改訂をとおして」平尾真智子『日本看護歴史学会誌』(16) 2-23
- 「中江藤樹の死因」杉浦守邦『啓迪』(21) 9-19
- 「中神琴溪引書攷 その医学思想についての文献学的外観 (抄)」館野正美『日本医史学雑誌』49 (4) 675-676
- 「医者も知りたい医者のはなし 日本の衛生・医療行政の父・長与専斎、専斎、長崎から上京」木村専太郎『臨床整形外科』38 (10) 1314-1318
- 「医者も知りたい医者のはなし 日本の衛生・医療行政の父・長与専斎、長崎医学校初代校長になるまで」木村専太郎『臨床整形外科』38 (8) 1086-1088
- 「野口英世記念館 (2)」涌井靖『HUMAN SCIENCE』14 (4) 38-39
- 「野口英世博士歯科学報論文と微生物学講座スピロヘータ研究の現在」石原和幸、奥田克爾、高添一郎『歯科学報』103 (11) 853-859
- 「野口英世博士剖検所見記録ノート」高添一郎『日本医事新報』(4156) 43-46
- 「橋本策」網野信行『日本内科学会雑誌』92 (9) 1741-1750
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 橋本策 (はしもとはかる)「橋本病」(抄)」秋田八年『日本医学会総会 26 回会誌』(3) 323

- 「世界に誇る日本の医学研究者⑤橋本策—橋本病の発見者」
佐藤裕『医学のあゆみ』207 (2) 116-120
- 「橋本策 (抄)」網野信行『日本内科学会雑誌』92 (Suppl) 82
- 「白居易 (楽天) 疾病攷」小高修司『日本医史学雑誌』49 (4) 615-636
- 「レンブラントの作品 ダヴィデ王の手紙を手にしたパト・シェバ」酒井シヅ『Mamma』(46) 表2
- 「癸亥 春林軒続葉方冊 (4)」高橋均、坂田育弘、児玉重隆『日本医史学雑誌』49 (2) 355-368
- 「青洲先生療乳癌函記」について—華岡青洲と広瀬屋利兵衛の妻— (抄) 松木明知『日本医史学雑誌』49 (1) 56-57
- 「華岡青洲とその医学に学ぶ 青洲に見る医の原点 (抄)」高島禮子『柔道整復・接骨医学』11 (3) 181-182
- 「華岡青洲とその医学に学ぶ 華岡青洲先生整骨法図説から学ぶ (抄)」福田格『柔道整復・接骨医学』11 (3) 183
- 「華岡青洲とその医学に学ぶ 華岡流整骨術と秘録 (抄)」我部正彦『柔道整復・接骨医学』11 (3) 184-185
- 「華岡青洲の里を訪れて (抄)」高島与四夫『新潟医学会雑誌』117 (9) 536-537
- 「歴史に残る斯界の人々 其の10 花田傳」『医道の日本』62 (10) 口絵
- 「高血圧研究の偉人 George W.Pickering」荒川規矩男『血圧』10 (10) 1151-1154
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴・1-4」佐藤

- 裕『臨床外科』58 (1-4) 84-85, 209-211, 396-397, 528-529
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 胃切除手術の先駆者たち」佐藤裕『臨床外科』58 (6) 806-807
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 Billroth II 法の登場」佐藤裕『臨床外科』58 (7) 965-968
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 胃癌研究のその後の展開 Mikulicz の貢献」佐藤裕『臨床外科』58 (8) 1100-1103
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴 1867年当時のウイーンの医学事情」佐藤裕『臨床外科』58 (10) 1369-1372
- 「近代腹部外科の開祖 Billroth ビルロート余滴・11 ライバル: Eduard Albert」佐藤裕『臨床外科』58 (12) 1525-1528
- 「富士川英郎先生を悼む」大滝紀雄『日本医史学雑誌』49 (2) 369-371
- 「最古参学校医 船石保太 (抄)」小田皓二『日本医史学雑誌』49 (1) 134-135
- 「高血圧研究の偉人 Eduardo Braun-Menendez」荒川規矩男『血圧』10 (8) 943-947
- 「高血圧研究の偉人 Irvine H.Page」荒川規矩男『血圧』10 (7) 757-760
- 「先達医家の肖像 <111> Max Joseph von Pettenkofer (1818-1901)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(387) 表3

- 「ドイツ人外科医ペルテス (1869—1927) の小伝と北清事変中の業績 (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』49 (1) 132-133
- 「懐旧のドイツ その3 梅毒病原体発見者エーリッヒ・ホフマンのこと」上野賢一『ミクロスコピア』20 (1) 37-41
- 「先達医家の肖像〈109〉 Daniel Bovet (1907-1992)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(385) 表3
- 「医者も知りたい医者のはなし オランダ商館医ポンベの話」木村専太郎『臨床整形外科』38 (12) 1526-1529
- 「歴史に残る斯界の人々 其の8 本間祥白」『医道の日本』62 (8) 口絵
- 「前野良沢 (蘭化) の自画像とオランダ馬具について (抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』49 (1) 104-105
- 「松本順と北海道 (1) 一本道に足跡を残す親族縁者の残映一」宮下舜一『北辰』(5) 1-11
- 「村上玄水の人体解剖について (抄)」ミヒェル・ヴォルフガング『医譚』(97) 89-90
- 「矢数道明先生1年忌追悼展示」『漢方の臨床』50 (11) 1497-1499
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 山極勝三郎「コールタルによる人工発癌 Coalatar carcinogenesis」(抄)」菅野晴夫『日本医学学会総会 26 回会誌』(3) 320
- 「世界で初の実験がん成功—山極勝三郎先生の業績」高山昭三『Modern Media』49 (8) 230-233

- 「世界に誇る日本の医学研究者②山極勝三郎—コールタルによる人工発癌」菅野晴夫『医学のあゆみ』207 (2) 103-106
- 「先覚的医界ジャーナリスト山谷徳治郎 (抄)」中山沃、小田皓二『日本医史学雑誌』49 (1) 130-131
- 「横川吸虫の発見者 横川定 (抄)」小田皓二『医譚』(96) 40
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 吉田富三「吉田肉腫 Yoshida sarcoma」(抄)」菅野晴夫『日本医学学会総会 26 回会誌』(3) 321
- 「がん化学療法は理論として成立する—吉田富三先生と先生の教訓—」高山昭三『Modern Media』49 (2) 45-47
- 「顕微鏡を考える道具に使った思想家 吉田富三先生 その業績と生涯」山口和克『癌の臨床』49 (9) 917
- 「世界に誇る日本の医学研究者③吉田富三—吉田肉腫」菅野晴夫『医学のあゆみ』207 (2) 107-110
- 「【吉田富三生誕 100 年記念特集】(第3回) 医療制度へのかかわり、吉田メモ発表、日本医師会長選に立候補」宮川昭平『医学と医療』(439-440) 17-25
- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生とがん研究の流れ 癌原性作用の本態」高山昭三『癌の臨床』49 (9) 919-921
- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生とがん研究の流れ がんの免疫」橋本嘉幸『癌の臨床』49 (9) 925-927
- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生とがん研究の流れ 世界にかけた橋」掛札堅『癌の臨床』49 (9) 933-937

- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生とがん研究の流れ 分子生物学」村松正實『癌の臨床』49 (9) 922-924
- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生とがん研究の流れ 吉田肉腫と腹水肝がん 細胞生物学から見た吉田富三先生の業績」黒木登志夫『癌の臨床』49 (9) 928-932
- 「吉田富三先生 人とその思想 吉田先生の思い出」井川洋二、石館基、伊東信行、内田宗寿、垣添忠生、黒川雄二、神前五郎、小林博、高橋俊雄、豊島久真男、翠川修、安西泰子『癌の臨床』49 (9) 938-947
- 「吉田肉腫の誕生から顕微鏡の思想家へ、そして医療制度へのかかわり」宮川昭平『医学と医療』(437-438) 12-13
- 「吉益東洞について (抄)」江部洋一郎『漢方医薬新聞』(324) 8
- 「吉益東洞の医説と臨床 (抄)」安井廣迪『漢方医薬新聞』(324) 7
- 「頼山陽の「歿日」末中哲夫『啓迪』(21) 21-27
- 「ラマツィーニの足跡とその顕彰 (抄)」松下敏夫『産業衛生学雑誌』45 (3) 122
- 「労働衛生史にみるラマツィーニとその著作について (抄)」野村茂『産業衛生学雑誌』45 (3) 122
- 「高血圧研究の偉人 Grant Winder Liddle」清水直容『血圧』10 (11) 1250-1255
- 「高血圧研究の偉人 Scipione Riva-Rocci」日和田邦夫『血圧』10 (3) 307-309

「顕微鏡を發明した Delft の Antoni Van Leeuwenhoek」加我君孝『いずみ』(12) 8-9

「先達医家の肖像 <106> Carl Weigert (1845-1904)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(382) 表3

41 伝記 (双伝)

- 「日本の血液学 近代血液学の源流 アショッフと長与又郎」柴田昭『血液フロンティア』13 (6) 820-826
- 「医者も知りたい医者のはなし 佐賀吉野ヶ里遺跡を取巻く江戸の名医たち—日本医学の近代化に関わった五人の医師—」木村専太郎『臨床整形外科』38 (5) 652-655
- 「緒方洪庵と添田玄春—西洋医学所頭取役宅の新築をめぐる (抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』49 (1) 106-107
- 「福田思想にみる行基と忍性の布施屋比較 古代と鎌倉時代 (抄)」高田みつ子『日本看護科学学会学術集会講演集』(23) 372
- 「葭蔭堂人脈のあれこれ」水田紀久『杏雨』(6) 77-100
- 「日本の血液学 近代臨床血液学の確立 小宮悦造と佐藤彰」柴田昭『血液フロンティア』13 (7) 968-973
- 「足部に名前を残した二人のフランス人 Chopart と Lisfranc」小林晶『整形外科』54 (2) 225-230
- 「世界の細菌学史に残る日本人の足跡 明治・大正・昭和の先人たち (抄)」竹田美文『日本細菌学雑誌』58 (1) 68
- 「高安右人と高峰讓吉 金沢発、世界に名を残した2人の学

- 者」松原純一『日本血管外科学会雑誌』12 (6) 563-569
「日本の血液学 本邦血液学の発展期 基礎血液学者の群像 (I)」柴田昭『血液フロンティア』13 (11) 1590-1596
「林洞海・研海 父と子の理念」望月洋子『日本医史学雑誌』49 (4) 637-660
「済生学舎出身の医師三木保長の生涯と東大整形外科教授三木威勇治について (抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』49 (1) 138-139
「北海道における明治女医史 女医 三野嘉寿井と早坂チカ」宮下舜一『北海道医報』(1020) 24-27
「明治初期の来日宣教医たち (抄)」高安伸子『神奈川医学会雑誌』30 (2) 253-254
「北海道における明治女医史 補稿 (II) 女医 三野嘉寿井と早坂チカ」宮下舜一『北海道医報』(1021) 4-8
「山片蟠桃と海保清陵の医学思想 『夢の代』と『天王談』における医師像 高橋正雄『日本医事新報』(4149) 39-43
「金沢医学専門学校中国人留学生 家福・韓清泉・李繩其」泉彪之助、北岡正子、曹暉『北陸医史』24 (1) 42-46
- #### 42 伝染病史・防疫史
- 「生物・化学兵器の恐怖 わが国の流行病の歴史」石倉俊治『薬局』54 (4) 1721-1723
「生物・化学兵器の恐怖 生物・化学兵器の歴史 ベストの流行と中世の崩壊」石倉俊治『薬局』54 (8) 2382-2384

- 「インドネシアにおける近代ハンセン病対策についての考察 (抄)」和泉眞藏『日本ハンセン病学会雑誌』72 (2) 127
「文明と伝染病 その関連の歴史」大谷明『日本細菌学雑誌』58 (4) 657-662
「宮古島のハンセン病覚書」菊地一郎『日本ハンセン病学会雑誌』72 (1) 3-9
「性感染症の背景 (No.1)」小島弘敬『東京都医師会雑誌』56 (4) 572
「伝染病の歴史—疫病から感染症に— (抄)」酒井シヅ『日本歯科医史学会々誌』25 (2) 53-54
「伝染病の歴史—疫病から感染症に (抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』49 (1) 11-13
「日本のコレラについて、コッホの忠告 (抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』30 (1) 90-91
「コレラに対する禁忌食品の時代的変遷 (抄)」佐分利保雄『日本医史学雑誌』49 (4) 674-675
「江戸時代の温泉と梅毒 (抄)」鈴木則子『日本医史学雑誌』49 (1) 72-73
「実験室感染ペスト (上・中・下)」滝上正『日本医事新報』(4140-4142) 59-62, 44-46, 43-45
「わが国の感染症研究 世界にインパクトを与えた研究、世界をリードしている研究」竹田美文『感染・炎症・免疫』33 (2) 143-148
「【感染症法の成果と提言】感染症と人権 特にらい (ハン

- セン病) 患者の歴史と復権の過程」中谷瑾子『公衆衛生』67 (4) 282-286
- 「草津湯の沢ハンセン病自由療養地の研究 (I) 湯の沢部落概観」森修一、加藤三郎、横山秀夫、田中梅吉、兼田繁『日本ハンセン病学会雑誌』72 (1) 11-25
- 「草津湯の沢ハンセン病自由療養地の研究 (II) 湯の沢部落史」森修一、加藤三郎、横山秀夫、田中梅吉、兼田繁『日本ハンセン病学会雑誌』72 (1) 27-44
- 「草津湯の沢ハンセン病自由療養地の研究 (III) 自由療養地構想から絶対隔離政策へ」森修一、加藤三郎、横山秀夫、田中梅吉、兼田繁『日本ハンセン病学会雑誌』72 (3) 217-237
- 「江戸末・明治時代のコレラ禍について」安田良栄『北陸医史』24 (1) 26-32
- 「三重県における戦前のハンセン病関係資料について (抄)」吉村利男『日本ハンセン病学会雑誌』72 (2) 126
- 「日本植民地時代における韓国のハンセン病対策の研究——一つの試論——」魯紅梅『日本医史学雑誌』49 (2) 223-261
- 43 東洋医学史・伝統医学史
- 「歴代漢方医家における一回処方薬剤数について」秋葉哲生、鈴木重紀、渡辺賢治、入江祥史、渡辺賀子『和漢医薬学雑誌』20 (6) 267-271
- 「老中医の鍼灸に学ぶ 進針を語る 承淡安」浅川要『中医

- 臨床』24 (2) 282-288
- 「『方函類聚』の処方 疝気 (6)」足立秀樹『漢方療法』7 (3) 186-192
- 「ウナニ系医学の伝来と発展 その植物製剤の肝疾患薬としての可能性 (An introduction and development of Unani System of Medicine and its Potential Herbal Drugs Used for Liver Diseases) (英語)」Ahmad Javed『和漢薬研究所年報』29, 3-9
- 「湖北省荆州市の周家台30号 秦墓竹簡の病方について (抄)」猪飼祥夫『医譚』(97) 75-77
- 「『素問』『靈枢』中の「滑」「瀉」について (抄)」上田善信『日本医史学雑誌』49 (1) 64-65
- 「古代医師の説話—黄帝を中心として—」内山知也『斯文』(111) 84-95
- 「人迎脈口診の再検討」遠藤次郎『鍼灸 OSAKA』19 (1) 101-106
- 「江戸時代の金瘡治療における「血」の概念の展開—紅毛流外科と気血水論 (抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』49 (1) 26-27
- 「甦る『杉山真伝流』顕彰会蔵の影印・和訓復刻にむけて」大浦慈観『経絡治療』(155) 14-21
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈 (30-38)」大塚賢治、渡辺洋井、『漢方の臨床』50 (1-4,6-10) 155-163,273-280,413-422,695-710,813-823,1007-1018,1147-1157,1253-1260

- 「南涯先生遺文 (1～3)」岡利幸『漢方の臨床』50 (5,7,9) 729-735,1039-1041,1308-1310
- 「チベット医学の背景とタンカ (医学掛図) の意味」岡田昌義『いずみ』50 (9) 18-19
- 「チベット医学における診断学とその治療」岡田昌義『いずみ』50 (10) 18-19
- 「占領下の鍼灸 GHQ 旋風と検閲のはざままで」奥津貴子『経絡鍼療』35 (2) 25-32
- 「運氣論から生命倫理まで 石田秀実氏の諸論文から考える」小高修司『中医臨床』24 (3) 340-346
- 「江戸考証医学初考—森立之の生平和著作」郭秀梅『新史学雑誌』14 (14) 121-156
- 「日中医学交流史 7・中日医書の交流 (日本の受容篇)」郭秀梅『日中医学』18 (1) 24-25
- 「日中医学交流史 8・中日医書の交流 (中国への還流篇)」郭秀梅『日中医学』18 (2) 22-24
- 「日中医学交流史 9・中日伝統医学における腹診法の源流」郭秀梅『日中医学』18 (3) 34-36
- 「良相良医方寸間」郭秀梅『医古文知識』1,34-38
- 「少彦名神社 (神農さん) について」河部康男『STETHO-SCOPE』(173) 2-14
- 「漢方製剤の医史学補遺 (抄)」菊谷豊彦『日本医史学雑誌』49 (4) 673-674
- 「[医聖漢張仲景先生之碑] の解説について」木下勤『漢方の臨床』50 (12) 1705-1714
- 「『黄帝内経』と陰陽五行説」小曾戸洋『漢方と鍼』27 (3) 4-5
- 「【小児アレルギーと漢方】 東洋医学史とアレルギー疾患」小曾戸洋『漢方と最新治療』12 (2) 110-114
- 「目でみる漢方史料館 (173) 矢数道明先生賛神農画像」小曾戸洋『漢方の臨床』50 (1) 2
- 「和漢薬の来歴に関する新史料 (抄)」小曾戸洋『日本医史学雑誌』49 (2) 377-378
- 「漢方基礎講座 神農本草経の由来・本草学史概略」権藤寿昭『福岡医師漢方研究会会報』24 (7) 20-27
- 「近世日本鍼灸史における『阿是要穴』の意義 (抄)」杉浦雄、篠原孝市『日本医史学雑誌』49 (1) 84-85
- 「天台大師の医学 とくに十乘観法について (抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』49 (3) 562-564
- 「気・宗氣・循環の概念の歴史的展開について (上・下) — 黒田源次氏著『氣の研究』に基づく」杉山広重『漢方の臨床』50 (7-8) 1043-1055,1180-1189
- 「体表外科サイドからの『入江流針之書』の手技の部分に関するアプローチ並びに書誌について (上・下)」杉山広重『漢方の臨床』50 (11-12) 1598-1609,1715-1724
- 「Q & A 衛氣と營気について」関口善太『中医臨床』24 (2) 290-291
- 「韓国の漢方 (抄)」鮮于基『漢方医薬新聞』(324) 7
- 「現代鍼灸と杉山検校の業績について」高橋昇造『斯文』

- (111) 70-83
 「Myth in the Tao: On Chuang tzu's Mythical Anecdotes from a Philosophical Viewpoint」 館野正美『日本大学人文科学研究所研究紀要』(66) 17-29
- 「山田業広著『金匱要略集註』訓読(24-26)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』50(26,9) 302-308, 920-924, 1311-1316
- 「中国における看護教育及び免許制度について」張瑞麗、孟秀、マーナ英子[豊澤]『看護』55(3) 106-109
- 「『名家灸選』所収の「試効」の灸法にみる施灸数(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』49(1) 82-83
- 「『玉葉』の鍼灸(抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』49(1) 86-87
- 「台湾医学史への関心と課題(抄)」寺畑喜朔『医譚』(96) 39
- 「『鍼灸拔萃』はいかにつくられたか(上)」長野仁『経絡治療』(153) 43-49
- 「カラグラフ 心鏡五臓論にみる五臓の色体と日本の鍼灸(図説)」長野仁『鍼灸 OSAKA』19(1) 1-5
- 「目でみる漢方史料館(177) 五雲子の『医工入式』序文」長野仁『漢方の臨床』50(5) 634-636
- 「目でみる漢方史料館(178) 五雲子に仮託された扁鵲真流の鍼灸叢書」長野仁『漢方の臨床』50(6) 794-796
- 「目でみる漢方史料館(179) 森中虚自筆本『家伝秘剂』」長野仁『漢方の臨床』50(7) 962-964
- 「厥病の変遷(抄)」平根弘治、関口麻紀、桑名一央、Moro Ursula、高岡直子他『日本東洋医学雑誌』54(別冊) S169
- 「韓国四象医学について(抄)」広田暉子『漢方医薬新聞』(324) 7
- 「鍼灸舌診学 舌診学の歴史 中国(Ⅱ-Ⅲ)」藤本蓮風『鍼灸 OSAKA』18-19(4,1) 444-446, 107-109
- 「臨床古典学 臨床現場からみた古典(その4)」藤本蓮風『鍼灸 OSAKA』19(1) 98-100
- 「『仏教と医学』—陶弘景の時代を中心に—」藤善眞澄『杏雨』(6) 103-132
- 「目でみる漢方史料館(175) 呉秀三収集『医聖堂前哲帖』北京図書館の伊沢蘭軒旧蔵元版『千金方』(3) 桂川甫賢」町泉寿郎『漢方の臨床』50(3) 346-348
- 「目でみる漢方史料館(176) 吉益東洞の肖像」町泉寿郎『漢方の臨床』50(4) 490-491
- 「目でみる漢方史料館(180) 森立之の遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』50(8) 1090-1092
- 「南涯先生遺文(4)」町泉寿郎、岡利幸『漢方の臨床』50(10) 1456-1458
- 「目でみる漢方史料館(182) 吉益南涯の遺墨」町泉寿郎、岡利幸『漢方の臨床』50(10) 1354-1356
- 「目でみる漢方史料館(181) 吉益東洞筆「範学一則」」町泉寿郎、小曾戸洋『漢方の臨床』50(9) 1218-1220
- 「江戸医学館における鍼灸講義(抄)」町泉寿郎、小曾戸洋、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』54(別冊) S167
- 「新出の多紀元堅門人録について(上・下)」町泉寿郎、小曾

- 戸洋、花輪壽彦『漢方の臨床』50 (3-4) 425-441,593-607
「江戸医学館の業績」町泉寿郎、戸出一郎、小曾戸洋、岩井
祐泉『漢方の臨床』50 (5) 743-772
「中国古典研究序説 私の基礎医学 (5-7)」松木きか『経絡
治療』(152,153,154) 74-80,34-42,36-44
「韓国伝統医学への理解 (抄)」松本克彦、吉富誠『漢方医
薬新聞』(325) 3
「台湾訪書志 I 故宮博物院所蔵の医薬古典籍 (9-14)」真
柳誠『漢方の臨床』50 (2,6-8,11-12) 309-315,925-931,
1061-106,1190-1196,1610-1614,1725-1732
「目でみる漢方史料館 (174) 北京図書館の伊沢蘭軒旧蔵元
版『千金方』」真柳誠『漢方の臨床』50 (2) 194-196
「湯島聖堂倉公伝講義 (9-11)」宮川浩也『医道の日本』62
(4,7,12) 135-138,150-153,154-158
「吉益東洞と後藤艮山の書 (追記) —旧山崎藩医『安原家』
のこと— (完)」宮崎綾子『漢方の臨床』50 (9) 1328-1332
「病原体としての「風」の概念」山田慶兒『日本医史学雑誌』
49 (2) 353-354
「資料でたどる日本鍼灸史 [21] —『鍼道秘訣集』にみられ
る鍼灸史」山本徳子『医道の日本』62 (3) 166-167
「資料でたどる日本鍼灸史 [22-23] —『鍼道秘訣集』にみ
られる鍼灸史 (その2—3)」山本徳子『医道の日本』62
(4,5) 178-179,152-153
「資料でたどる日本鍼灸史 [24] —無分、意斎をめぐって—」

- 山本徳子『医道の日本』62 (6) 170-171
「資料でたどる日本鍼灸史 [25] —杉山流鍼術をめぐって—」
山本徳子『医道の日本』62 (7) 154-155
「資料でたどる日本鍼灸史 [26] —管鍼術をめぐって—」山
本徳子『医道の日本』62 (8) 120-122
「資料でたどる日本鍼灸史 [27] —管鍼術をめぐって②—」
山本徳子『医道の日本』62 (9) 162-164
「資料でたどる日本鍼灸史 [28] —資料にみる撚鍼法—」山
本徳子『医道の日本』62 (10) 165-167
「資料でたどる日本鍼灸史 [29] —資料にみる打鍼法—」山
本徳子『医道の日本』62 (11) 178-181
「資料でたどる日本鍼灸史 [30] —岡本一抱の鍼灸—」山本
徳子『医道の日本』62 (12) 168-169
「韓国伝統医学の今昔・日本との交流も含めて (抄)」吉富
誠『漢方医薬新聞』(324) 6-7
「中国伝統医学と道教 (第23回) 五石散 (抄)」吉元昭治
『日本医史学雑誌』49 (1) 74-75
「日中医学交流史 5・正月行事からみる薬膳」魯紅梅『日中
医学』17 (5) 50-53
「日中医学交流史 6・鑑真和尚と隋唐時代の医学交流」魯紅
梅『日中医学』17 (6) 26-27
「日中医学交流史 10・現代における漢方診療からみる日中
の違い」魯紅梅『日中医学』18 (4) 32-35
「本居宣長記念館蔵の鍼について (抄)」和久田哲司『日本

44 内科史

- 「血球形態学の歴史 序論」柴田昭『日本検査血液学会雑誌』4 (3) 317-321
- 「血球形態学の歴史 (抄)」柴田昭『日本検査血液学会雑誌』4 (学術集会) S32
- 「日本の血液学 その黎明期 (19世紀後半)」柴田昭『血液フロンティア』13 (4) 534-540
- 「日本の血液学 近代血液病理学の確立 清野謙次と同時代人々」柴田昭『血液フロンティア』13 (9) 1272-1279
- 「肝細胞増殖因子 (Hepatocyte Growth Factor) その発見の歴史と特に歯科医学分野での生理的意義」大工原恭『鹿児島大学歯学部紀要』23,25-35
- 「「インスリン物語」と二宮陸雄先生」仁木厚『ミクロスコピア』20 (1) 56-59
- 「Mesangiolytic の歴史 日本における研究業績を中心に」森田俊『日本腎臓学会誌』45 (7) 667-672
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 光学顕微鏡の発明と遺伝性球状赤血球症の発見」八幡義人『血液フロンティア』13 (6) 814-819
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜研究の夜明け」八幡義人『血液フロンティア』13 (7) 962-966
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜の組成分析の

始まり まず膜脂質から」八幡義人『血液フロンティア』13 (8) 1124-1131

- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球形態の決定因子をめぐって」八幡義人『血液フロンティア』13 (10) 1408-1420
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜構造を探る試み」八幡義人『血液フロンティア』13 (11) 1578-1588
- 「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 赤血球膜の超微構造」八幡義人『血液フロンティア』13 (12) 1730-1737

45 皮膚科史

- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 ナチ協力者 K.Zieler のこと」上野賢一『皮膚科の臨床』45 (1) 35-37
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 ドイツ皮膚科学会・出版界のナチ化」上野賢一『皮膚科の臨床』45 (3) 273-276
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 その他のナチ協力者 (2-4)」上野賢一『皮膚科の臨床』45 (4-6) 447-451,563-566,681-683
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 ユダヤ系皮膚科医の命運 (1-5)」上野賢一『皮膚科の臨床』45 (7,8,9,10,12) 795-798,925-928,1043-1047,1199-1202,1573-1577

「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ナチ第三帝国時代のドイツ皮膚科医 その他の被害者」上野賢一『皮膚科の臨床』45 (13) 1749-1752

「皮膚科医学史 Paul Langerhans の生涯 評価に100年を要した天才」矢野武『皮膚病診療』25 (11) 1304-1309

46 泌尿器科史

「泌尿器科は外科から生まれた」大越正秋『日本医事新報』(4130) 57-58

「日本における皮膚科・泌尿器科分離小史—泌尿器科学独立史—」友吉唯夫『医学史研究』(84) 1-8

47 病院史

「日本における精神病院の起源とその類型 (明治維新以前)」小俣和一郎『精神神経学雑誌』105 (2) 200-206

「彌生園幕末診療録にみる統計的考察」田中祐尾『医譚』(97) 61-67

「淀川キリスト教病院の創立の原点」辻本嘉助『淀川キリスト教病院学術雑誌』(第16回院内学会特集) 1-5

「原本・石川県金沢病院沿革について」寺畑喜朔『北陸医史』24 (1) 33-36

「慈恵病院の改革に貢献したある医師団の実体について」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』118 (3) 171-174

「ガイ病院の創設について (抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』

49 (1) 118-119

48 病跡史

「伊能忠敬の死因」杉浦守邦『医譚』(97) 39-50

「ミューズの病跡学 49 マチスの虫垂炎」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (1) 120-122

「ミューズの病跡学 50 ピエロ・デラ・フランチェスカと甲状腺腫瘍」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (2) 235-238

「ミューズの病跡学 51 ホガースと胎児アルコール症候群」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (3) 365-367

「ミューズの病跡学 52 プーサンの振戦とパーキンソン病」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (4) 511-513

「ミューズの病跡学 53 カラバッジョの眠るキューピッド」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (5) 659-662

「ミューズの病跡学 54 ドガの視力障害」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (6) 787-789

「ミューズの病跡学 55 ロンブローゾとトルストイの出会い」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (7) 939-941

「ミューズの病跡学 56 ブリュエゲルと聖ヴィトウスの舞踏 (St. Vitus dance)」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (8) 1103-1105

「ミューズの病跡学 57 コナン・ドイルとツベルクリン」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (9) 1239-1242

「ミューズの病跡学 58 聖コスマスと聖ダミアン：フラ・ア

ンジェリコと移植医療」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (10) 1390-1395

「ミュージズの病跡学 59 ウィリアム・ブーグローとフランス美人画」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (11) 1766-1769

「ミュージズの病跡学 60 三王礼拝と贈り物」早川智、山本樹生『産科と婦人科』70 (12) 1882-1884

53 放射線医学史

「じん肺X線写真分類の80年史 日本版とILO版 (抄)」細田裕『産業衛生学雑誌』45 (3) 124

「癌研究会附属病院の上部消化管X線検査の歴史について (抄)」松本史樹『日本消化器集団検診学会雑誌』41 (3) 345

54 本草学史・博物学史

「『草木図説』木部の近世舶来植物について」遠藤正治『慈齋研究会だより』(99) 2-8

「小野蘭山学統による漢・蘭薬用植物の研究 リンネ分類法の受容過程 (抄)」遠藤正治『医譚』(97) 73-74

「シーボルト記念館蔵『阿蘭陀草木鏡図』の検討 (抄)」中村輝子、遠藤次郎、ヴォルフガング・ミヒェル『薬史学雑誌』38 (2) 221

「和歌食物本草 (18)」半田喜久美『東静漢方研究室』26 (2) 35-52

「ホーデフリート・ハークと17世紀の日蘭交流における薬草学について (抄)」ヴォルフガング ミヒェル『日本医史学雑誌』49 (1) 28-29

「食物本草と本草の果菜部から」宮下三郎『杏雨』(6) 1-50

55 麻酔学史

「古典あれこれ 外科手術に対する全身麻酔開発の歴史について—第1-2部—」犬山征夫『JOHNS』19 (10-11) 1514-1520,1636-1639

「Ralph Milton Watersと専門科学としての麻酔科学の75年」菅井直介『麻酔』52 (2) 195-201

「【呼気ガスモニターの最前線】古典的呼気ガスモニターとその役割」諏訪邦夫『臨床麻酔』27 (3) 512-518

「麻酔科学史の新研究 「笑気研究会」の歩み」松木明知『麻酔』52 (5) 551-557

57 薬学史

「日本の売薬 (1) 小児五疳薬 (抄)」遠藤次郎、中村輝子、田村一至、ヴォルフガング・ミヒェル『薬史学雑誌』38 (2) 220

「免疫抑制薬開発の歴史 アザチオプリン」太田和夫『Trends Topics in Transplantation』15 (1) 13

「江戸期越中反魂丹薬方について」大橋清信『薬史学雑誌』38 (2) 139-143

- 「茵蔯蒿の本草学的考察」奥野勇、難波恒雄『薬史学雑誌』38 (1) 42-53
- 「新薬 50 年史：新薬開発の流れと病態構造への影響 (抄)」小澤輝高、小澤光、佐藤美由紀『薬史学雑誌』38 (2) 217
- 「新薬 50 年史 7 止血薬および抗血栓薬の開発と変遷」小澤光、我孫子雍史、秋元健『薬史学雑誌』38 (1) 93-105
- 「新薬 50 年史 6 糖尿病治療薬の開発・変遷と疫学的動向」小澤光、村井ユリ子、小澤輝高『薬史学雑誌』38 (1) 11-27
- 「処方と生薬の使用頻度から『金匱要略』の用薬規範を探る」片貝真寿美、赤丸敏行、谿忠人『薬史学雑誌』38 (1) 1-10
- 「『傷寒論』の病期別の薬対から用薬規範を探る」片貝真寿美、谿忠人『薬史学雑誌』38 (2) 193-204
- 「炙甘草を中心にした薬対から『傷寒論』処方の構成を探る」片貝真寿美、谿忠人『薬史学雑誌』38 (2) 151-160
- 「医学・医療の進歩を世界へ向けて 医学史 世界に誇る日本の医学研究者 アドレナリン adrenalin (e) の発見 (抄)」菅野富夫『日本医学会総会 26 回会誌』(3) 324
- 「落語の中の医薬品 第 3 報 (抄)」五位野政彦『薬史学雑誌』38 (2) 219
- 「伝統は未来医療の礎 附子・烏頭の歴史的変遷 (抄)」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』54 (2) 335-339
- 「『日本医薬品集』の編集からみた医薬品添付文書 30 年の変遷 (抄)」佐々木宏子、近藤敏子『薬史学雑誌』38 (2) 215
- 「薬学領域よりみたホルモン研究史 (3) 尿を原料とした性

- ホルモン研究の史的意義 (抄)」末廣雅也『薬史学雑誌』38 (2) 216
- 「トランスアミナーゼ測定試薬初の国産化 その変遷と経過を辿る」杉山茂『薬史学雑誌』38 (1) 110-116
- 「キノロン系合成抗菌薬の開発と変遷」高橋寿、早川勇夫、秋元健『薬史学雑誌』38 (2) 161-179
- 「生薬物語 朝顔 (牽牛子)」中村實郎『STETHOSCOPE』(173) 15-22
- 「衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の 100 年 (3) 新商品 PR の場としての博覧会」服部昭『薬史学雑誌』38 (2) 180-184
- 「1670 年代の出島における薬油の蒸留について (抄)」ミヒェル・ヴォルフガング『医譚』(97) 82
- 「【眠りの医学 睡眠の異常と睡眠薬の話】展望 睡眠薬の歴史的展開」村崎光邦『こころの臨床ア・ラ・カルト』22 (3) 321-333
- 「抗不安薬開発の歴史と展望」村崎光邦『臨床精神薬理』6 (6) 671-688
- 「ヤナギから始まった NSAIDs」森田育男、酒井シヅ『NSAIDs STORY』(1)
- 「薬学領域における分離技術革新の史的研究」山川浩司、西谷潔『薬史学雑誌』38 (1) 28-41
- 「人類の智慧 頭痛克服の歴史 解熱鎮痛薬の歴史 アスピリンの歴史」横田敏勝『Arthritis-運動器疾患と炎症-』1 (2) 146-149

「世界史の中のマカオの薬 (抄)」リヨン・フォンマン・アグネス、津谷喜一郎『薬史学雑誌』38 (2) 223

58 蘭学史

「適塾 (緒方洪庵) と大阪」梅溪昇『日本病院会雑誌』50 (11) 1619-1633

「エビデンスに基づく診断と治療 日蘭交流 400 年」片桐一男『診断と治療』91 (3) 549-550

「整形外科と蘭学 奥平昌鹿と母親の骨折」川寫真人『臨床整形外科』38 (1) 68-69

「整形外科と蘭学 福沢諭吉と「蘭学事始」」川寫真人『臨床整形外科』38 (3) 334-335

「整形外科と蘭学 吉雄耕牛と解体新書」川寫真人『臨床整形外科』38 (6) 804-805

「整形外科と蘭学 整骨術と蘭学」川寫真人『臨床整形外科』38 (9) 1206-1207

「整形外科と蘭学 蘭学の里中津シンポジウム」川寫真人『臨床整形外科』38 (11) 1428-1429

「解剖約圖の事 2・3 (抄)」佐藤充男『医譚』(96) 37-38

「1660・70年代の日蘭交流における薬草の輸入及び調査について (抄)」ヴォルフガング・ミヒェル、中村輝子、遠藤次郎『薬史学雑誌』38 (2) 222

「太田黒玄淡の阿蘭陀外科免許状とその背景について」ミヒェル・ヴォルフガング、杉立義一『日本医史学雑誌』

49 (3) 455-477

「天文学関係蘭文断簡について (2)」吉田忠『鳴滝紀要』(13) 13-22

59 リハビリテーション関係史

「近代日本におけるマッサージ医療の導入」和久田哲司『日本医史学雑誌』49 (2) 263-276

60 検査

「【尿検査教本 2003—2004】尿検査の推移 尿沈渣検査の歩み」稲垣勇夫、伊藤機一『臨床病理レビュー特集号』(125) 204-209

「【尿検査教本 2003—2004】尿検査の推移 尿定性検査の歩み」島田勇『臨床病理レビュー特集号』(125) 199-203

61 その他

「続 楽しい薬理学 ジキル博士の変身薬 (四)」岡部進『薬局』54 (4) 1726-1731

「江戸時代における容器のネジ口について (抄)」服部昭『薬史学雑誌』38 (2) 210

62 中国語文献

「『敖氏傷寒金鏡録』在日本流傳情况的若干調査」梁『中華

- 「医史雜誌」33 (1) 3-6
- 「『医宗金鑑』中的傷寒內容特色」黃海『中華医史雜誌』33 (1) 7-10
- 「『永樂大典』引用元代医籍考」杜勇『中華医史雜誌』33 (1) 11-13
- 「『広瘟疫論』學術思想之探析」陳揚榮『中華医史雜誌』33 (1) 14-15
- 「吳仲広及其脈学著作考」鄭金生『中華医史雜誌』33 (1) 16-19
- 「徐定超与京師大学堂医学館」劉沢生『中華医史雜誌』33 (1) 20-23
- 「探析孔子儒家思想中的攝生觀」鮑曉東『中華医史雜誌』33 (1) 24-26
- 「熊宗立刊刻医書概述」陳国代『中華医史雜誌』33 (1) 27-29
- 「俞慎初的中藥学成就与學術思想探討」華碧春『中華医史雜誌』33 (1) 30-32
- 「中国侗族医学「風証」的起源及其辨析研究」劉育衡·丁鋒·丁佳『中華医史雜誌』33 (1) 33-35
- 「著名蒙医藥学家龍日格丹達爾生平考」宝音図·陳良·哈斯額爾敦『中華医史雜誌』33 (1) 36-37
- 「米国名医拉什及其医学思想」李天莉『中華医史雜誌』33 (1) 38-41
- 「貝爾納的生命觀对現代生理学的影響」劉遠明『中華医史雜誌』33 (1) 42-45
- 「元代医籍年表」劉時覺『中華医史雜誌』33 (1) 46-50
- 「近代以健康教育為書名的著作述評」張蘇萌·張丹紅『中華医史雜誌』33 (1) 51-56
- 「『戴原礼医論』文献引証的探討」陳漢雄『中華医史雜誌』33 (1) 57-59
- 「讀李建民『死生之域 1 周秦漢脈学之源流』」朱建平『中華医史雜誌』33 (1) 60-62
- 「王吉民先生曾為國際科学史研究院院士和通訊院士」吳鴻洲·蕭惠英『中華医史雜誌』33 (1) 13
- 「雷允上与六神丸」何淑雲『中華医史雜誌』33 (1) 29
- 「近期国外新書簡介」劉燕『中華医史雜誌』33 (1) 10
- 「山東發現 5000 年前的開顛術頭骨」姜志平『中華医史雜誌』33 (1) 56
- 「方論始于宋」袁冰『中華医史雜誌』33 (1) 19
- 「血型人種論及其創立者」龐厚芝『中華医史雜誌』33 (1) 50
- 「清代雲南昆明的鼠疫流行」李玉尚·曹樹基『中華医史雜誌』33 (2) 67-71
- 「明代『医史』作者李濂生平著述考略」張一群『中華医史雜誌』33 (2) 72-75
- 「從唐代貢品藥材看四川地道藥材」嚴奇岩『中華医史雜誌』33 (2) 76-81
- 「我国古代医生社会地位变化及对医学發展的影響」劉理想『中華医史雜誌』33 (2) 82-85
- 「『素問』王冰注使用祖本探討」喬海法·李紅芹『中華医史

- 雜誌】33 (2) 86-89
- 「『素問積義』理校法的研究」穆俊霞『中華医史雜誌』33 (2) 90-92
- 「日本漢医学権威矢数道明」真柳誠『中華医史雜誌』33 (2) 93-95
- 「嘉約翰与西医传入中国」王尊旺『中華医史雜誌』33 (2) 96-99
- 「血管生成理論的提出与發展」王慶国·易成·李平『中華医史雜誌』33 (2) 100-104
- 「空腔鏡診治發展綜述」穆玉蘭·夏恩蘭·温沢清『中華医史雜誌』33 (2) 105-107
- 「普通外科的歷史回顧与展望」劉海忠·龔建平『中華医史雜誌』33 (2) 108-111
- 「清末以来中国精神医学文献的翻譯」羅磊·牛吉峰『中華医史雜誌』33 (2) 112-115
- 「江西近代教会医院概述」胡永印『中華医史雜誌』33 (2) 116-118
- 「感染病研究大事記」王宇明『中華医史雜誌』33 (2) 119-122
- 「医史教育目前存在的問題及对策」王三虎『中華医史雜誌』33 (2) 123-124
- 「網絡資源在医史文献学研究中的应用」梁永宣『中華医史雜誌』33 (2) 125-封3
- 「『夢溪筆談』中的医学思想与中藥学知識」張曉麗『中華医史雜誌』33 (2) 71
- 「從野馬豆看藏密对『本草綱目拾遺』的影響」夏雷鳴『中華医史雜誌』33 (2) 75
- 「王吉民、伍連德与『中国医史』」蕭惠英『中華医史雜誌』33 (2) 92
- 「17—19 世紀中国与北美洲的医藥交流」朱德明『中華医史雜誌』33 (2) 104
- 「心电图儀及其發明者」李孝芳『中華医史雜誌』33 (2) 89
- 「『中国医学通史』獲中国中医研究院科技進步獎」実之『中華医史雜誌』33 (2) 66
- 「『国内失伝中医善本古籍的搶救回帰与発掘研究』課題圓滿完成」王咪咪『中華医史雜誌』33 (2) 81
- 「張子和紀念碑在太行東麓落成」楊建宇『中華医史雜誌』33 (2) 99
- 「成都「中医藥伝統文化博物館」開館」和中浚『中華医史雜誌』33 (2) 115
- 「以史為鑑、直面 S A R S」張志斌·李経緯『中華医史雜誌』33 (3) 131-137
- 「由 S A R S 流行回顧 20 世紀 50 年代北京伝染病防治」甄橙·程之範『中華医史雜誌』33 (3) 138-141
- 「『以病人為中心』模式的發展史略」張鳴明『中華医史雜誌』33 (3) 142-144
- 「中西医解剖学史比較与中西医理論体系建構」趙博『中華医史雜誌』33 (3) 145-148
- 「同濟医学院与德国医学合作百年史実」陳一彦『中華医史雜誌』

- 誌】33 (3) 149-151
- 「方論肇始考略」袁冰·朱建平『中華医史雜誌』33 (3) 152-154
- 「金元時期社会因素对方剂学發展的影響」谷勝東『中華医史雜誌』33 (3) 155-159
- 「試論中国古代的孝道与医道」王玉德『中華医史雜誌』33 (3) 160-163
- 「西北民間挑擦放寒方法的淵源及發展」張農·王文『中華医史雜誌』33 (3) 164-166
- 「文字書法对中医藥傳播的相關作用」李永謙『中華医史雜誌』33 (3) 167-169
- 「『鷄峰普濟方』作者考」杜勇『中華医史雜誌』33 (3) 170-172
- 「『新修本草』藥物合并与分条对藥物總数的影響」尚志鈞『中華医史雜誌』33 (3) 173-176
- 「徐潤之和他的『松齡医鐸』」劉時覺·陳克正『中華医史雜誌』33 (3) 177-180
- 「『景岳全書』与臟腑辨証」楊雪梅『中華医史雜誌』33 (3) 181-183
- 「丁福保年表」高毓秋『中華医史雜誌』33 (3) 184-188
- 「浙江中医兒科考述」王光利·胡濱·竹劍平『中華医史雜誌』33 (3) 189-191
- 「讀『秦伯未医学名著全書』後」謝海洲『中華医史雜誌』33 (3) 192-封三
- 「近代抗擊傳染病的北京中医」劉暉『中華医史雜誌』33 (3) 151
- 「疫病含義与範圍考」張志斌『中華医史雜誌』33 (3) 159
- 「生物工程技術的建立」趙崇華『中華医史雜誌』33 (3) 169
- 「Graham 与第一例全肺切除術」劉彥国·王俊『中華医史雜誌』33 (3) 180
- 「1942 年米国的「非典」和 1952 年北京的「非典」」劉虹·金安娜『中華医史雜誌』33 (3) 183
- 「天花的世界流行」朱建平『中華医史雜誌』33 (3) 188
- 「嵇含撰『南方草木狀』内証二則」孫啓明『中華医史雜誌』33 (3) 封三
- 「世界上首例通過光纖施行的越洋手術」路運珍『中華医史雜誌』33 (3) 163
- 「第一個癌症化療藥物的發現」龍秀玲『中華医史雜誌』33 (3) 166
- 「米国現代控制人口生育運動的先驅」郝清華『中華医史雜誌』33 (3) 172
- 「毛沢東關於振興中医藥学的思想及實踐」江曉英『中華医史雜誌』33 (4) 195-199
- 「由 SARS 引起關於疫病預防与治療的思考」張志斌·李經緯『中華医史雜誌』33 (4) 200-205
- 「19 世紀後半葉廣州鼠疫传入路綫的探討」李永宸·文『中華医史雜誌』33 (4) 206-208
- 「中西医結合与瘟疫的第一次对決」王振瑞『中華医史雜誌』33 (4) 209-213
- 「唐代甄權『明堂人形圖』与官修『明堂針灸圖』考」王雪苔『中華医史雜誌』33 (4) 214-216

- 「論朱丹溪对『本草衍義』的補遺」李秀華·林詔冰『中華医史雜誌』33 (4) 217-219
- 「中藥方剂名称中的形近字互用個例考」楊金萍『中華医史雜誌』33 (4) 220-223
- 「『中風論』及其學術思想探究」楊金生『中華医史雜誌』33 (4) 224-226
- 「中風病辨治陰陽為綱源流」鄭國慶·黃培新『中華医史雜誌』33 (4) 227-230
- 「鄭觀応の医事活動与医学思想」鄭洪『中華医史雜誌』33 (4) 231-236
- 「巴彬斯基与巴彬斯基徵」張婧·王擁軍『中華医史雜誌』33 (4) 237-238
- 「扁桃体切除術簡史」王志斌『中華医史雜誌』33 (4) 239-241
- 「韓医学史現代研究概況」車雄碩·梁永宣『中華医史雜誌』33 (4) 242-245
- 「『清明上河図』与北宋医藥文化」靳士英·靳朴『中華医史雜誌』33 (4) 246-248
- 「欣読『台湾解剖学百年史』」李経緯『中華医史雜誌』33 (4) 249-250
- 「『医史文献最新研究成果在教学中的应用』研修班紀要」劉玉瑋『中華医史雜誌』33 (4) 251-254
- 「民国時期仲景学說研究团体「涅陽学社」組織簡介」張勝忠『中華医史雜誌』33 (4) 199
- 「歷史上的流感流行簡史」朱建平『中華医史雜誌』33 (4) 241

- 「王 身世生平的新史料」楊永興『中華医史雜誌』33 (4) 254
- 「腎穿刺活檢術的建立和發展」田景友『中華医史雜誌』33 (4) 213
- 「陝西省医史学会召開疫病防治史座談会」朱富華『中華医史雜誌』33 (4) 216
- 「2004年中国中医藥文化學術研討会将召開」王新華『中華医史雜誌』33 (4) 223
- 「第11届全国医史学術會議暨『中外医学史』教材編委会召開」張志斌『中華医史雜誌』33 (4) 封3
- 「世界中医藥学会聯合会在北京成立」『中華医史雜誌』33 (4) 194
- 「韩国著名学者安相佑来京進行学术交流」梁永宣『中華医史雜誌』33 (4) 248

63 韓国語文献

- 「『郷薬集成方』諸咳門の精読から得られる朝鮮前期郷薬医学の特徴」姜延錫·安相佑『韓国医史学会誌』16 (1) 3-16
- 「中国医学の朝鮮半島伝来以降の自国化と韓国伝統医薬技術の発展についての研究」金南一『韓国医史学会誌』16 (1) 17-38
- 「『医方類聚』所引「五臟六腑図」の著者と編成」金大亨·安相佑『韓国医史学会誌』16 (1) 39-62
- 「『黄帝内經』以前の医学書籍考察」金勳『韓国医史学会誌』16 (1) 63-112
- 「東武人性論と清代中国人性論の比較研究」方正均『韓国医史学会誌』16 (1) 113-136

- 「宋代校定医書局の考察」王昭迎・崔桓寿・金容辰『韓国医史学会誌』16 (1) 137-160
- 「李東垣脾胃学説小考」殷哲玟『韓国医史学会誌』16 (1) 161-168
- 「小児医方の版本比較」李佳・安相佑『韓国医史学会誌』16 (1) 169-176
- 「韓中両国の伝統社会における医員の社会的地位」李善我『韓国医史学会誌』16 (1) 177-182
- 「『青囊訣』の研究」鄭智『韓国医史学会誌』16 (1) 183-190
- 「現代における韓医学史研究の概況」車雄碩・梁永宣『韓国医史学会誌』16 (1) 191-200
- 「国際東アジア地区医学史学術大会に際して」孟雄在『韓国医史学会誌』16 (2) 3-6
- 「『素問』陰陽応象大論の「気味傷五体」の研究」方正均『韓国医史学会誌』16 (2) 7-16
- 「『医零』の作者・若鏞の医学思想の研究」徐奉徳・金南一『韓国医史学会誌』16 (2) 17
- 「伝統医学における知識情報化と古文獻データベースの構築」安相佑『韓国医史学会誌』16 (2) 35-64
- 「17世紀における中朝医学交流史の実証」梁永宣『韓国医史学会誌』16 (2) 65-70
- 「『東医宝鑑』における許浚の傷寒認識方式の研究」李尚原・車雄碩・金南一『韓国医史学会誌』16 (2) 71-104
- 「許浚『診解救急方』の研究」鄭順徳・車雄碩・金南一『韓

- 国医史学会誌』16 (2) 105-140
- 「中国中医研究院図書館所蔵朝鮮版朝韓古医籍の調査」朱建平『韓国医史学会誌』16 (2) 141-147
- 「『靈枢』は高麗政府所蔵本『針経』に基づく」真柳誠『韓国医史学会誌』16 (2) 147-162
- 「2003年『中華医史雑誌』収録論文の分析」車雄碩『韓国医史学会誌』16 (2) 163-184

64 欧文学文献

- ABEL, Emily K.: From Exclusion to Expulsion: Mexicans and Tuberculosis Control in Los Angeles, 1914-1940: Bull. Hist. Med.:77 (4) 823-849
- AFKHAM, Amir: Compromised Constitutions: The Iranian Experience with the 1918 Influenza Pandemic: Bull. Hist. Med.:77 (2) 367-392
- ARNOLD, K./OLSEN, D.: Medicine Man: The Forgotten Museum of Henry Wellcome: Medical History:47 (3) 369-381
- BARDE, Robert: Prelude to the Plague: Public Health and Politics at America's Pacific Gateway, 1899: J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (2) 153-186
- BARTRIP, P.W.J.: Irving John Selikoff and the Strange Case of the Missing Medical Degrees: J. Hist. Med. Allied Sci.:58 (1) 3-33

- BATES, A.W.:The sooterkin dissected: the theoretical basis of animal births to human mothers in early modern Europe:Vesalius:9 (2) 6-14
- BEIER, Lucinda Mccray:'We were Green as Grass': Learning about Sex and Reproduction in Three Working-class Lancashire Communities, 1900-1970:So. Hist. Med.:16 (3) 461-480
- BELKIN, Gary S.:Brain Death and the Historical Understanding of Bioethics:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (3) 325-361
- BERRIDGE, Virginia:Public or Policy Understanding of History?:So. Hist. Med.:16 (3) 511-523
- BOWDEN, S./TWEEDALE, G.:Mondays without Dread: The Trade Union Response to Byssinosis in the Lancashire Cotton Industry in the Twentieth Century:So. Hist. Med.:16 (1) 79-95
- BRADLEY, J./DUPREE, M.:A Shadow of Orthodoxy? An Epistemology of British Hydropathy, 1840-1858:Medical History:47 (2) 173-194
- BRIEGER, Gert H.:Temkin's Times and Ours: An Appreciation of Owsei Temkin:Bull. Hist. Med.:77 (1) 1-11
- BUFTON, M.W./SMITH, D.F./BERRIDGE, V.:Professional Ambitions, Political Inclinations, and Protein Problems: Conflict and Compromise in the BMA Nutrition Committee 1947-1950:Medical History:47 (4) 473-492
- CAREY, Hilary M.:What is the Folded Almanac? The Form and Function of a Key Manuscript Source for Astro-medical Practice in Later Medieval England:So. Hist. Med.:16 (3) 481-509
- CHRISTENSEN, Peter:"In These Perilous Times": Plague and Plague Policies in Early Modern Denmark:Medical History:47 (4) 413-450
- CICUREL, A./SHVARTS, S.:Stuttering in antiquity-Moses and Demosthenes:Vesalius:9 (2) 15-18
- COOTER, Roger:Of War and Epidemics: Unnatural Couplings, Problematic Conceptions:So. Hist. Med.:16 (2) 283-302
- CUTLER, Tony:Dangerous Yardstick? Early Cost Estimates and the Politics of Financial Management in the First Decade of the National Health Service:Medical History:47 (2) 217-238
- DALE, Pamela:Implementing the 1913 Mental Deficiency Act: Competing Priorities and Resource Constraint Evident in the South West of England before 1948:So. Hist. Med.:16 (3) 403-418
- DARBY, Robert:'Where Doctors Differ': The Debate on Circumcision as a Protection against Syphilis, 1855-

- 1914:So. Hist. Med.:16 (1) 57-78
- DAWBARN, Frances:New Light on Dr Thomas Moffet: The Triple Roles of an Early Modern Physician, Client, and Patronage Broker:Medical History:47 (1) 3-22
- DECKER, Karola:Divisions and Diversity: The Complexities of Medical Refuge in Britain, 1933-1948:Bull. Hist. Med.:77 (4) 850-873
- DEMAITRE, Luke :The Art and Science of Prognostication in Early University Medicine:Bull. Hist. Med.:77 (4) 765-788
- DIOSI, P./KAZANJIAN, P.:Transmission or Recurrence? A Historical Dilemma of Iatrogenic Infections Due to Cytomegalovirus:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (1) 56-78
- DRACOBLY, Alex:Ethics and Experimentation on Human Subjects in Mid-Nineteenth-Century France: The Story of the 1859 Syphilis Experiments:Bull. Hist. Med.:77 (2) 332-366
- DURIE, Alastair:Medicine, Health and Economic Development: Promoting Spa and Seaside Resorts in Scotland c.1750-1830:Medical History:47 (2) 195-216
- FAIRMAN, J./GILBRIDE J.:Gendered Notions of Expertise and Bravery:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (4) 442-448
- FISHER, John:To Kill or not to Kill: The Eradication of Contagious Bovine Pleuro-Pneumonia in Western Europe: Medical History:47 (3) 314-331
- FRAGU, Philippe:How the Field of Thyroid Endocrinology Developed in France after World War II:Bull. Hist. Med.:77 (2) 393-414
- FREWER, A./STEIF, Y.:Personen, Netzwerke und Institutionen: Zur Grundung der Deutschen Gesellschaft fur Geschichte der Medizin und Naturwissenschaften-:Sudhoffs Archiv:87 (2) 180-194
- GIRALT, Sebastia:El autor del Contra calculum y de otros tres tratados medicos: Arnau de Vilanova o Galvano da Levanto?:Sudhoffs Archiv:87 (1) 32-68
- GOERING, Laura:"Russian Nervousness": Neurasthenia and National Identity in Nineteenth-Century Russia:Medical History:47 (1) 23-46
- GOW, Andrew Colin:Sanguis Naturalis and Sanc De Miracle: Ancient Medicine, Superstition and the Metaphysics of Medieval Healing Miracles:Sudhoffs Archiv:87 (2) 129-158
- GREENBLATT, Samuel H.:Harvey Cushing's Paradigmatic Contribution to Neurosurgery and the Evolution of His Thoughts about Specialization:Bull. Hist. Med.:77 (4) 789-822
- GUERRINI, Anita:Duverney's Skeletons:Isis:94 (4) 577-603
- HAINES, R./SHLOMOWITZ, R.:Causes of Death of British

- Emigrants on Voyages to South Australia, 1848-1885: *So. Hist. Med.*:16 (2) 193-208
- HARRINGTON, Ralph: On the Tracks of Trauma: Railway Spine Reconsidered: *So. Hist. Med.*:16 (2) 209-223
- HAYTER, Charles R.R.: Seeds of Discord: The Politics of Radon Therapy in Canada in the 1930s: *Bull. Hist. Med.*:77 (1) 75-102
- HOUCK, Judith A.: "What Do These Women Want?": Feminist Responses to *Feminine Forever*, 1963-1980: *Bull. Hist. Med.*:77 (1) 103-132
- HOWARD, Sharon: Imagining the Pain and Peril of Seventeenth-century Childbirth: Travail and Deliverance in the Making of an Early Modern World: *So. Hist. Med.*:16 (3) 367-382
- IRVINE, J.T./TEMKIN, O.: Who was Akilaos? A Problem in Medical Historiography: *Bull. Hist. Med.*:77 (1) 12-24
- JANOT, Francis: *Embaumeurs/medecins de l'Egypte ancienne*: *Vesalius*:9 (1) 9-12
- KEATING, P./CAMBROSIO, A.: Beyond "Bad News": The Diagnosis, Prognosis and Classification of Lymphomas and Lymphoma Patients in the Age of Biomedicine (1945-1995): *Medical History*:47 (3) 291-313
- KEISER, George R.: Two Medieval Plague Treatises and Their Afterlife in Early Modern England: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (3) 292-324
- KING, Nicholas B.: The Influence of Anxiety: September 11, Bioterrorism, and American Public Health: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (4) 433-441
- KROPF, S.P./AZEVEDO, N./FERREIRA, L.O.: Biomedical Research and Public Health in Brazil: The Case of Chagas' Disease (1909-50): *So. Hist. Med.*:16 (1) 111-129
- LEAVESLEY, James H.: The 'Batavia,' an apothecary, his mutiny and its vengeance: *Vesalius*:9 (2) 22-24
- LEAVITT, Judith Walzer: What Do Men Have to Do with It? Fathers and Mid-Twentieth-Century Childbirth: *Bull. Hist. Med.*:77 (2) 235-262
- LIVINGSTON, Julie: Pregnant Children and Half-Dead Adults: Modern Living and the Quickening Life Cycle in Botswana: *Bull. Hist. Med.*:77 (1) 133-162
- LOGAN, Gabriella Berti: Women and the Practice and Teaching of Medicine in Bologna in the Eighteenth and Early Nineteenth Centuries: *Bull. Hist. Med.*:77 (3) 506-535
- LORD, Alexandra M.: Models of Masculinity: Sex Education, the United States Public Health Service, and the YMCA, 1919-1924: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (2) 123-152
- MAEHLE, Andreas-Holger: Protecting Patient Privacy or Serving Public Interests? Challenges to Medical

- Confidentiality in Imperial Germany: *So. Hist. Med.*:16 (3) 383-401
- MAGOWSKA, Anita: The UNESCO Concept of Heritage and Teaching of the History of Medicine and Pharmacy in the Karol Marcinkowski University of Medical Sciences in Poznan: *Vesalius*:9 (1) 33-35
- MARKS, Harry M.: Epidemiologists Explain Pellagra: Gender, Race, and Political Economy in the Work of Edgar Sydenstricker: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (1) 34-55
- MAVROUDIS, Aimilios D.: Der autographische Brief des K.G.Kuhn über die Edition der Reihe Medicorum Graecorum opera quae exstant: *Sudhoffs Archiv*:87 (2) 173-179
- MAZUMDAR, Pauline M.H.: 'In the Silence of the Laboratory': The League of Nations Standardizes Syphilis Tests: *So. Hist. Med.*:16 (3) 437-459
- MCCALLUM, R.I.: Sir Thomas Oliver (1853-1942) and the Health of Antimony Workers: *Vesalius*:9 (1) 13-19
- MCCALMAN, J./MORLEY, R.: Mothers' Health and Babies' Weights: The Biology of Poverty at the Melbourne Lying-in Hospital, 1857-83: *So. Hist. Med.*:16 (1) 39-56
- MCCARTHY, Louella: Idealists or Pragmatists? Progressives and Separatists among Australian Medical Women, 1900-1940: *So. Hist. Med.*:16 (2) 263-282
- MCCULLOCH, Jock: The Discovery of Mesothelioma on South Africa's Asbestos Fields: *So. Hist. Med.*:16 (3) 419-436
- MITMAN, Gregg: Hay Fever Holiday: Health, Leisure, and Place in Gilded-Age America: *Bull. Hist. Med.*:77 (3) 600-635
- MONTFORD, Angela: Dangers and Disorders: The Decline of the Dominican Frater Medicus: *So. Hist. Med.*:16 (2) 169-191
- MURPHY, Elaine: The New Poor Law Guardians and the Administration of Insanity in East London, 1834-1844: *Bull. Hist. Med.*:77 (1) 45-74
- MURRAY, John E.: Social Insurance Claims as Morbidity Estimates: Sickness or Absence?: *So. Hist. Med.*:16 (2) 225-245
- NAQVI, Nasim H.: Surgical Instruments in the Taxila Museum: *Medical History*:47 (1) 89-98
- NUTTON, Vivian and Christine: The Archer of Meudon: A Curious Absence of Continuity in the History of Medicine: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (4) 401-427
- OLSAN, Lea T.: Charms and Prayers in Medieval Medical Theory and Practice: *So. Hist. Med.*:16 (3) 343-366
- OTTAVIANI, R./VANNI, P./BACCOLO, M.G./GUERIN, E./VANNI, D.: The First Nobel Peace Prize, Henry

- Dunant (Founder of the International Red Cross) and His 'Memoires':*Vesalius*:9 (1) 20-27
- PAROJCIC, D./STUPAR, D./MIRICA, M.:La Theriaque: Medicament et Antidote:*Vesalius*:9 (1) 28-32
- PEARSON, David:Joseph Fenton and His Books:*Medical History*:47 (2) 239-248
- PEITZMAN, Steven J.:Why Support a Women's Medical College? Philadelphia's Early Male Medical Pro-Feminists:*Bull. Hist. Med.*:77 (3) 576-599
- PEREZ, Stanis:Louis XIV et le quinquina:*Vesalius*:9 (2) 25-30
- PERRY, Y./LEV, E.:The Medical Activities of the London Jews' Society in Nineteenth-Century Palestine:*Medical History*:47 (1) 67-88
- PEUMERY, Jean Jacques:Cartesianisme et circulation sanguine:*Vesalius*:9 (2) 31-34
- PILLOUD, S./LOUIS-COURVOISIER, M.:The Intimate Experience of the Body in the Eighteenth Century: Between Interiority and Exteriority:*Medical History*:47 (4) 451-472
- PRULL, Cay-Rudiger:Part of a Scientific Master Plan? Paul Ehrlich and the Origins of His Receptor Concept:*Medical History*:47 (3) 332-356
- RODRIGUEZ DE ROMO, A.C./PADILLA, J.R.P.:The Mexican Response to high Altitudes in the 1890s: The Case of a Physician and his "Magic Mountain" Medical History:*47* (4) 493-516
- ROLAND, Charles G.:Lester Snow King (1908-2002) :*J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (3) 362-366
- ROSENBERG, Charles E.:What Is Disease? In Memory of Owsei Temkin:*Bull. Hist. Med.*:77 (3) 491-505
- ROTHMAN, David J.:Serving Clio and Client: The Historian as Expert Witness:*Bull. Hist. Med.*:77 (1) 25-44
- ROUSSEAU,G.S./HAYCOCK, D.B.:Coleridge's Cholerias: Cholera Morbus, Asiatic Cholera, and Dysentery in Early Nineteenth-Century England:*Bull. Hist. Med.*:77 (2) 298-331
- SCHAFFER, Daniel:Die alternde Frau in der frühneuzeitlichen Medizin-eine "vergessene" Gruppe alter Menschen:*Sudhoffs Archiv*:87 (1) 90-108
- SCHNEIDER, William H.:Blood Transfusion Between the Wars:*J. Hist. Med. Allied. Sci.*:58 (2) 187-224
- SCHWEIKARDT, Christoph:More than just a Propagandist for Tea: Religious Argument and Advice on a Healthy Life in the Work of the Dutch Physician Cornelis Bontekoe (1647-1685) :*Medical History*:47 (3) 357-368
- SELLERS, Christopher:The Dearth of the Clinic: Lead, Air, and Agency in Twentieth-Century America:*J. Hist. Med.*

- Allied. Sci.:58 (3) 255-291
- SELLERS, Christopher:September 11 and the History of Hazard:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (4) 449-458
- SHAPIN, Steven:Trusting George Cheyne: Scientific Expertise, Common Sense, and Moral Authority in Early Eighteenth-Century Dietetic Medicine:Bull. Hist. Med.:77 (2) 263-297
- SHVARTS,S./BORKAN,J./MORAD, M./SHERF, M.:The Government of Israel and the Health Care of the Negev Bedouin under Military Government, 1948-1966 :Medical History:47 (1) 47-66
- SMITH, Angie:Weighed in the Balance? The Corporation of Apothecaries in Bordeaux, 1690-1790:So. Hist. Med.:16 (1) 17-37
- SMITH, Lisa W.:Reassessing the Role of the Family: Women's Medical Care in Eighteenth-century England:So. Hist. Med.:16 (3) 327-342
- SOWELL, David:Contending Medical Ideologies and State Formation: The Nineteenth-Century Origins of Medical Pluralism in Contemporary Colombia:Bull. Hist. Med.:77 (4) 900-926
- STEWART, John:Angels or Aliens? Refugee Nurses in Britain, 1938-1942:Medical History:47 (2) 149-172
- TALLEY, Colin:The Treatment of Multiple Sclerosis in Los Angeles and the United States, 1947-1960:Bull. Hist. Med.:77 (4) 874-899
- THOMAS, Samuel S.:Midwifery and Society in Restoration York:So. Hist. Med.:16 (1) 1-16
- THOMPSON, Steven:To Relieve the Sufferings of Humanity, Irrespective of Party, Politics or Creed?: Conflict, Consensus and Voluntary Hospital Provision in Edwardian South Wales:So. Hist. Med.:16 (2) 247-262
- TOGNOTTI, Eugenia:Scientific Triumphalism and Learning from Facts: Bacteriology and the 'Spanish Flu, Challenge of 1918:So. Hist. Med.:16 (1) 97-110
- TOMES, Nancy:Reflections on September 11: A Symposium:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (4) 428-432
- WADDINGTON, Keir: "Unfit for Human Consumption": Tuberculosis and the Problem of Infected Meat in Late Victorian Britain:Bull. Hist. Med.:77 (3) 636-661
- WEISZ, George:The Emergence of Medical Specialization in the Nineteenth Century:Bull. Hist. Med.:77 (3) 536-575
- WHEELER, Susan:Henry IV of France Touching for Scrofula, by Pierre Firens:J. Hist. Med. Allied. Sci.:58 (1) 79-81
- YOUNG, D.J. :Poetical Allusions to the Circulation of Blood up to the End of the Seventeenth Century:Vesalius:9 (1) 3-8